

令和 7 年 度

教 育 要 覧



大洗町教育委員会

大 洗 町 民 憲 章

町制施行30周年を記念し
昭和59年12月19日制定

わたくしたちは

この海をひらき

原子の火を育て

水と緑を愛する

健康で明るい大洗の町民です

1. めぐまれた自然をまもり美しいまちにしましょう
1. 教養を深め文化の高いまちにしましょう
1. 仕事にはげみ活力ある豊かなまちにしましょう
1. きまりを守り住みよいまちにしましょう
1. 思いやりの心で楽しいまちにしましょう

町の花・木・鳥



(つつじ)



(松)



(かもめ)

目

次

1	大洗町の概要	2
	大洗町地図（文教施設位置図）	3
2	本県教育目標・本町教育目標	4
3	令和6年度大洗町教育行政の指標	5
4	教育委員	12
(1)	教育委員会	12
(2)	教育行政組織図	12
(3)	教育委員会の沿革	13
(4)	教育委員会事務局	17
(5)	教育予算	18
5	学校教育	19
(1)	大洗町立学校の概要	19
(2)	緊急連絡網	23
(3)	学校施設の概要	23
(4)	児童・生徒数の推移	24
(5)	教員数の推移	25
(6)	小・中学校校務分掌主任一覧	26
6	特色ある大洗町教育関係事業等	27
7	生涯学習	27
1.	社会教育	27
2.	公民館事業	28
3.	青少年教育事業	28
4.	文化財保護普及啓発事業	29
5.	博物館事業	30
6.	社会体育事業	31
7.	町民会館事業	31

8	文化財一覧	32
	・国指定文化財	32
	・県指定文化財	32
	・町指定文化財	33
	・国登録有形文化財	34
9	関係機関・関係諸団体一覧	36
	教育関係機関	36
	教育関係諸団体	36
	学校教育機関	37
	・学校医、学校歯科医、学校薬剤師	37
	・奨学生選考審議委員	37
	・教育支援委員	37
	社会教育関係機関	38
	・社会教育委員	38
	・公民館運営審議会委員	38
	・文化財保護審議会委員	38
	・磯浜古墳群史跡整備検討委員	38
	・青少年相談員	39
	・スポーツ推進委員	39
	社会教育・社会体育関係団体	40
10	大洗町・大洗町教育委員会刊行物一覧	40

表紙解説

令和6年度人権啓発ポスター
コンクール応募作品
左：南小 1年 莊司結心さん
右：第一中 1年 内藤心温さん
（※学年は令和6年時点）

1 大洗町の概要

位置・地勢・交通

大洗町は、茨城県の太平洋岸のほぼ中央に位置し、南北9.0km、東西2.5kmで細長い形をしている。

面積は23.89km²で、県都水戸市の中心部（水戸駅）から南東に約11km、東は、太平洋に面し、北は、那珂川を境にひたちなか市と、西北は涸沼川を境に水戸市と、西南は汽水湖である涸沼をはさみ茨城町と、南は鉾田市とそれぞれ接している。

美しい海岸線はおおらかな湾形をなし、市街地は概ねこれに沿う低地部に形成され、後方に標高25m～35mの丘陵を背負っている。涸沼川に近い低地部には水稲が栽培され、丘陵部は畑や山林となっている。丘陵は関東ローム層の洪積台地である鹿島台地の北部に位置しており、那珂川河口から南の一部は砂浜地となっている。

気候は表日本型の海洋性気候のため、四季を通じて過ごしやすい気候となっている。

本町の交通体系は、大洗鹿島線の鉄道をはじめとし、東水戸道路の開通、北関東自動車道路から常磐自動車道そして東北自動車道まで開通したことなどにより、首都圏との関わりが極めて身近なものになっている。

町勢の概要

昭和29年11月、磯浜町と大貫町が合併し大洗町が誕生した後、昭和30年7月には旭村の一部（旧夏海村）を編入し、現在の姿となっている。

大洗町は、古くから漁業と観光の町として栄え、日本三大民謡の一つ「磯節」の発祥の地としても知られ、県内有数の観光の地である。

町内には、アクアワールド茨城県大洗水族館、大洗海浜公園・ひたちなかエネルギーロジック大洗マリンタワー・大洗町幕末と明治の博物館・大洗わくわく科学館等多くの観光文化施設が整備されている。

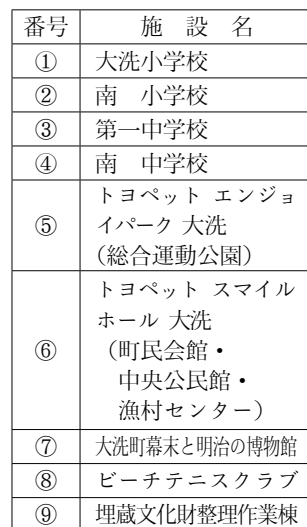
町の将来都市像を「幸せ無限大・不幸ゼロのまち大洗」とし、次の五つの施策大綱を示し、第6次大洗町総合計画により町政を推進している。

- 住民の命と生活を守るまちづくり
- 一人ひとりを大切にみんなが住みよいまちづくり
- 観光を中心とした共創による儲かる地場産業のまちづくり
- 大洗の未来を担う人財を育てるまちづくり
- 持続可能な行財政運営によるまちづくり

町の人口と世帯数 （令和7年4月1日現在）

1. 人 口	15,408 人
（男）	7,635 人
（女）	7,773 人
2. 世帯数	7,728 世帯

(文教施設位置図)



2 本県の教育目標・本町の教育目標

本 県 教 育 の 目 標

茨城県教育委員会

ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
郷土を愛し 協力しあう心を育てる

(昭和44年制定)

本 町 教 育 の 目 標

大洗町教育委員会

ひとりひとりの有能性を高め 豊かな人間性をつちかう
たくましい心身をきたえ 思いやりの心を育てる
連帯感を深め 郷土を愛する心を養う

(昭和60年12月25日制定)

ひとりひとりの有能性を高め 豊かな人間性をつちかう

「有能性」と「人間性」とは、調和のとれた人間形成をめざす二大課題である。古今、教育はいつもこの二つの課題「有能性」を高めること、「人間性」を豊かにすることに努めてきた。しかし、近代科学の急速に発展した20世紀後半、「有能性」の教育に特に力が注がれた結果、人間疎外の進行、機械による人間支配の現象など、反省すべき問題が指摘されている。

ここに、「人間性」教育の復活が今日の課題として大きく取り上げられている。改めて「有能性」と「人間性」とを人間形成をめざす教育の両輪として確認するとともに、特に豊かな「人間性」育成の教育を目指したい。

たくましい心身をきたえ 思いやりの心を育てる

激動する現代社会に生きる人間に欠かせないのが、変動に前向きで積極的に対応していくバイタリティ（活力）である。ここから人間としてのたくましさ育てる重要性が目される。このたくましさは、体のたくましさと、その土台の上に立つ心のたくましさから成り立つ。

心のたくましさについては狭く解釈せず、主体性、自律性、創造性、柔軟性、強靱な意志などを含む「すこやかな心」、人間尊重に立つ差別や偏見を持たぬ心、感動する心、感謝の心、奉仕の心、思いやる心など「広い心」として広義にとらえたい。特に「思いやりの心」を人間性の育成とともに大きく取り上げたい。

連帯感を深め 郷土を愛する心を養う

都市化の進展など子ども・町民を取り巻く地域社会の諸条件の変化により、遊び場の減少や遊びの変化が見られ、また、町民の隣人関係が希薄化し、地域の連帯感の喪失、弱体化を招き、地域の教育力が低下しつつある現状である。

本町には古来、漁業や農業を営む豊かな自然的環境と、それを営む人々の連帯・協力の精神的風土があり、独自の文化・伝統を育んできた。今、改めてこの郷土の文化や伝統を見直し、大洗町民のアイデンティティ（独自性・持ち味）を生かすことを考えたい。

子どもはもとより、町民の日々の家庭生活や社会生活、また、諸行事や会合などの広い触れ合いを通して、心を通わす連帯感を深めたい。

そして、本町さらには日本の独自の文化や伝統を尊重し、郷土を愛する心を養い、あわせて国際性の養成を図りたい。

3 令和7年度 大洗町教育行政の指標

教育基本法の精神及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の趣旨を体し、茨城県教育の目標と大洗町の町民憲章及び教育目標、そして大洗町教育大綱に基づいた第3期大洗町教育振興基本計画を踏まえて、令和7年度の教育行政の指標を定めることにより、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら互いに協力し合い、学校教育の充実強化を図るとともに、生涯学習の一層の推進を図ろうとするものである。

(1) 徳・体・知が調和した特色ある教育の推進

情報化・少子高齢化など急激に変化する時代を生き抜くため、社会の課題や様々なリスクにも積極的・主体的に挑戦し、グローバルに活躍し、自分の夢実現に向けて歩んでいけるような人材を育成していきます。そのために、豊かな人間性を育成し、健やかな心と体を育む教育と確かな学力を育む教育を推進していきます。

① 豊かな人間性を培う教育の推進

ア 豊かな心育成（徳育）の推進

- 子どもたちの豊かな心の育成のために、「あいさつ」「朝食の摂取」「読書」「お手伝い」の実践を指導するとともに、問題解決的な学習や体験的な学習を適切に取り入れるなど、道徳教育の充実を図ります。（「茨城県人権教育総合推進地域事業」（R6～R8）を受託）
- 平和教育を積極的に推進し、同世代の仲間を含む多くの町民にも平和の尊さを啓発していきます。

イ 家庭・地域の役割の重視

地域ぐるみで子どもたちの望ましい成長を図っていくために、世代間や地域間の交流、地域行事への参加促進等、子どもたちが様々な交流活動・体験活動をとおして、自主性・自立性を養うことができるよう、学校・家庭・地域・事業所が連携して取り組みます。

ウ 各種教育の充実

- 大洗町人権教育推進全体計画に基づき、一人ひとりの児童生徒がその発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができる心の育成に努めます。
- 学校における朝読書、読み聞かせボランティアの活用、学校図書室活用の充実などをとおして、読書の楽しさを感じることができる取組を進めます。

② 健やかな心と体を育む教育の推進

ア 健康の保持・増進

- 家庭や地域の関係機関と連携を図りながら、児童生徒の生活のリズムを整え、自己管理能力の向上を図るなど学校保健活動を推進します。
- 学校医や養護教諭等からの指導・助言により、児童生徒の口腔及び目の健康に配慮していきます。
- 児童生徒が生涯にわたって健やかに生きていくために、「食」に関する知識や「食」を選択する力を習得し、健全な食生活が実践できるよう、学校と家庭が連携して「食育」に取り組めます。

イ 体力の向上と学校体育活動の推進

- 全国体力・運動能力調査等の結果や分析を活用し、各校における子どもの実態に即した改善策を計画・実践することで、体力・運動能力の向上と運動習慣の改善に取り組みます。
- 休み時間等を利用した外遊びや集団遊びを奨励し、運動の日常化を進めるとともに、子どもたちのリフレッシュ効果の促進と授業に集中できる環境を整えます。
- 中学校部活動においては、部活動指導員及び外部指導者を活用し、専門性を生かした活動が展開できるように努めます。

ウ 子育て支援の推進

- ・ 大洗町教育センターにおいて、臨床心理士やセンター相談員による子ども及び保護者等の教育相談を実施し、子育てに関する助言を行います。また、各小中学校及び幼児教育施設に対して、アウトリーチ型の支援を実施していきます。

③ 確かな学力を身につける教育の推進

ア 確かな学力を育む教育と活用する力の育成

- ・ 全国学力・学習状況調査結果を活用し、学校全体で継続的に授業改善・充実を図ります。
- ・ 町採用の社会人TTや特別教育支援員の配置により、習熟度別学習や補充・発展の学習など、個に応じた指導の充実に努めます。
- ・ 教科横断的な学習を取り入れ、日常生活や他教科の学習で活用する場を設けることにより、学んだものを活用する力を鍛えていきます。

イ 学びの継続性の推進

- ・ 小1プロブレムの解消のために、就学前教育と学校教育の連携を強化した、架け橋プログラムの充実を図ります。また、就学前教育に必要な専門的知識・技能についての研修会を実施し、指導力の向上を図っていきます。

ウ 特別支援教育の充実

- ・ さまざまな問題を抱えた子どもたち一人ひとりに応じた支援が行えるよう校内支援体制の整備と特別支援教育員の適切な活用を図ります。
- ・ 特別支援学校との連携を促進するとともに、教職員の専門性の向上を図ります。

エ 家庭学習支援の推進

- ・ 児童生徒の「確かな学力」の定着と学習習慣の形成に向け、「家庭学習の手引き」を活用し、学校と家庭の連携を図っていきます。
- ・ 一人一台端末を活用した家庭学習が進められるように、ルールを定め、活用を支援します。

④ 小中連携教育の推進

ア 小中連携教育の推進

- ・ 義務教育9年間の継続した指導のもと、生活・学習指導上の課題の改善を図るとともに、授業・行事等での交流を推進していきます。
- ・ 小小・小中・中中の教員間の相互交流を推進し、共同授業や研修会等の充実を図ります。

⑤ 社会の変化に対応した教育の推進

ア 国際性を育む教育及び英語教育の推進

- ・ 全小中学校に外国語指導助手（ALT）を各校2名配置し、小中学校が連携し、一貫した英語教育の充実を図ります。
- ・ フィリピン現地講師のマンツーマン指導によるオンライン英会話授業を小学5年生から中学3年生を対象に実施し、英語コミュニケーション力を伸ばしグローバルな人材の育成を図ります。

イ 科学技術教育の推進

- ・ 小学校にて教科担任制を積極的に導入し、理科免許を有する教員による専門性の高い授業を実現していきます。
- ・ 大学等との連携による教科横断学習(STEAM教育)や、地域の研究所と協働し科学実験教室を創出する大洗サイエンスカレッジ事業など、最先端技術や科学の奥深さに触れる機会を創出し、科学的思考力や探求心を育成します。

ウ 情報教育の推進

- ・ SNS等が急激に発展する情報社会において、その利便性と危険性を理解し実際の場面で適切な判断や行動がとれるよう、家庭と連携した情報モラル教育の充実を図ります。
- ・ 人工知能技術や生成AIなど、新たな情報資源に対する理解を深め、情報を正しく活用する資質・能力を育てます。

エ キャリア教育・進路指導の推進

- ・ 将来の夢や目標をもって学習や生活に臨めるよう、発達段階に応じた計画的・組織的なキャリア教育の充実を図ります。
- ・ 地域の企業や団体と連携・協働し、実際の職業実務を体験する機会を創出し、社会的・職業的自立のための基盤となる資質・能力を育てます。

オ 伝統や文化を尊重した教育の推進

磯浜古墳群や幕末と明治の博物館などの地域の資源を活用しながら、郷土テキスト「大洗道」や社会科副読本「おおあらい」を適宜活用し、我が町の伝統や文化を学ぶことで大洗町への理解を深めるとともに、郷土への愛着や誇りを育みます。

カ 環境教育の推進

大洗わくわく科学館やアクアワールド大洗、科学研究施設などの地域の資源を活用しながら、SDGs（持続可能な開発の目標）に鑑みた環境美化活動の実践的な取り組みを行い、環境を守ろうとする意欲や態度を育みます。

キ 自ら進んで社会に参画する教育の推進

- ・ ボランティア活動や高齢者とのふれ合い活動など、社会貢献活動を積極的に実施し、地域社会において自分でできることを考え、実践する機会を創出することで、よりよい社会づくりに参画する意欲を高めていきます。
- ・ 「社会科」等の学習にて、選挙、租税等に対する正しい理解と健全な消費生活を営む態度を養うとともに、子どもたちに主権者として必要な資質・能力を育成していきます。

(2) 学校・家庭・地域の連携と協働による安心して学べる環境の整備

地域の人材・資源を大いに活用した大洗らしい魅力と特色ある教育の充実を図るとともに、学校と家庭、地域が連携し、子どもたち一人ひとりの個性に応じたきめ細かい支援に取り組んでいきます。また、子どもたちが安全に安心して学ぶことのできる環境を整えていきます。

① 学校・家庭・地域との連携・協働

ア 学校・家庭・地域が連携した教育の推進

「大洗うみ・まちコミュニティスクール（学校運営協議会）」と地域学校協働活動を一体的に推進し、子どもたちの豊かな学びの機会や場を構築していくために、地域の多様な教育力を生かすとともに、人間的交流や社会的交流を深める取組をとおして、地域とともに歩む教育を推進します。

イ 学校教育と生涯学習・社会教育の連動

先進的事例を有する国・県の生涯学習関連施設（国立社会教育実践センター・茨城県水戸生涯学習センター等）と連携を密にし、学校教育と社会教育の連動の方法等を探りながら、大洗町に即した実践活動を進めていきます。

ウ 教育課程の充実

子どもたちに必要な資質・能力をしっかりと身に付けることができるよう、複数の教科等の連携を図りながら授業を実施したり、地域の人的・物的資源を活用したりするなど、学校や地域の実態や特色を考えたカリキュラム・マネジメントの推進に努めます。

② 信頼・尊敬される学校づくりの推進

ア 教職員の資質向上

- ・ 教職員の研修では、各種訪問指導にて実践的な指導力向上や教職員相互の学び合い、若手教員への支援の充実を図ります。また、県教育研修センター等への内地留学や中央研修への派遣等を積極的に活用していきます。
- ・ 校務支援システムの有効活用により、業務の効率化を図り、子どもと向き合う時間を確保することに努めます。

イ 信頼される学校づくりの推進

- ・ 地域や保護者との連携を図るために、動画等を活用して教育活動の広報を積極的に推進します。
- ・ ホームページや学校だよりを使って、広く周知するとともに、地域公開を行うことで理解

と協力を得る取り組みを充実していきます。

③ 教育環境及び学校施設・組織運営の整備

ア 学校施設の整備と学校の組織運営の充実

- ・ 校長のリーダーシップのもと、学校のグランドデザインを作成し、教職員全員で活力ある学校づくりに努めます。
- ・ 児童生徒一人一台の教育情報端末など、ICT機器の計画的な整備を進めます。
- ・ 教育委員会の点検・評価と学校評価の連動を図るとともに、優れた実践事例の共有等、学校の教育活動や学校運営の改善充実を図ります。

イ 子どもたちの安心・安全の確保

- ・ 発達段階に応じた安全教育を系統的に実施し、危険を予測したり、回避したりできる力を育成します。児童生徒が自らの命を守り主体的に判断し、行動できる力を育成していきます。
- ・ 各学校において、危機管理マニュアルを活用し、危機管理体制を整備するとともに、すべての教職員が共通理解を図り、事件・事故・災害等が発生した際に児童生徒の安全を確保できるよう訓練を行っていきます。
- ・ 児童生徒の防犯教育を進めるとともに、家庭への啓発や警察、学校安全サポーター等との連携を図り、地域ぐるみで学校の安全体制の整備を進めます。

ウ 適正規模にあった教育環境整備の検討

- ・ 今後の児童生徒数や出生数の推移を視野に入れ、学校の再編に向けて検討していきます。
- ・ 「公共施設の今後のあり方に関する内部検討会」での検討や教育委員会内での議論とともに、PTA・関係機関・地域の方々から十分な意見を聴取し、共通理解を図りながら進めていきます。

④ いじめ・不登校等への対策と安全確保

ア いじめ・不登校等への組織的な対策

- ・ 各学校においては、児童生徒理解に基づいた指導を進めるとともに、心の教育を充実させ、児童生徒の問題行動の未然防止に努めます。
- ・ 教職員においては、児童生徒との定期的な面談やチェックリストの活用により、問題の早期発見・早期対応や一人ひとりに応じた適切な対応に努めます。
- ・ 大洗町教育センターの来所・電話相談や家庭・学校への訪問相談を充実させるとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用により、家庭への支援や専門機関との連携に努めます。

イ 家庭及び関係機関と連携

いじめが確認された場合は、いじめを受けた児童生徒とその保護者に対する支援や、いじめを行った児童生徒の保護者に対する助言を行うとともに、保護者・地域と協力して、児童生徒を守る支援を充実させます。

ウ 就学前教育・学校教育の充実

連続性のある教育を実施するに当たっては、保育士及び教職員が、それぞれの校種の教育課程の連続性を理解していくことが重要であるため、相互交流や研修会を行うとともに、幼児と児童生徒のさまざまな交流活動をととして情報の共有化を進め、各課題の解消に努めます。

⑤ すべての子どもたちへの学習機会の確保

ア 就学に係る援助の整備・充実

経済的な理由により、就学に困難を抱えている児童生徒に対して、国の補助制度を活用した要保護・準要保護児童生徒の就学援助に努めます。また、高校や大学への就学が困難な方のために、町独自の奨学金の給付や貸与を行います。

イ 学習環境の整備・充実

- ・ 教育環境づくりの一環として、児童生徒のニーズに沿った図書・資料を備えた学校図書館と教育活動を充実させる教材の整備を進めます。

- ・ 臨時休校、学級閉鎖、不登校等においても一人一台教育情報端末を活用し、オンライン学習等による「学びを止めない手立て」を推進します。

(3) 生涯学習活動の推進

住民の世代を超えた多様化する学習ニーズに応えるため、社会教育活動の推進やスポーツ推進事業の充実、芸術文化の振興など幅広い学習活動を支援し、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、人とのつながりや学校、家庭、地域が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、ウェルビーイングの向上を目指していきます。

① 社会教育の推進

ア 社会教育の充実

- ・ 町民の多様なニーズに合わせた公民館講座を企画・実施するとともに、内容の充実を図り、生涯にわたり学習することができる機会を提供します。また、広報誌やホームページなどを通して学習情報の提供を積極的に行います。
- ・ 自主サークルの広報や学習の成果を発表する場（生涯学習フェスティバル等）の提供など、町民自らが主体となって実施する学習活動を支援します。
- ・ 図書室資料の充実を図るとともに、県立図書館・県内公共図書館との遠隔地貸出サービス・相互貸借サービスを積極的に周知・活用するなど読書活動を推進します。

② 青少年の健全育成

ア 家庭教育支援の推進

- ・ 保護者同士の交流の機会となる家庭教育学級を通じて、仲間づくりや学級間の情報交換や交流を行い、子育てについての悩みを共有することで、家庭の教育力の向上を図ります。
- ・ 家庭教育支援についての情報や課題解決に向けた講演会の開催など学習機会の提供に努めます。

イ 次代を担う青少年の育成

- ・ 子どもたちの豊かな心の育成のために、北海道洋上体験学習や海っ子・山っ子体験交流の自然体験活動や社会体験活動等の体験活動をとらして未来を担う人材の育成に努めます。
- ・ 高校生会活動を通じた青少年の育成など、地域のリーダーとして次世代を担う人材の育成を図ります。

ウ 子どもの居場所づくり

児童が心豊かで健やかに成長していくよう、放課後子ども教室やサタデー文殊塾で放課後等の居場所づくりと地域住民の参画を得て地域資源を活用し、子どもたちの活動を支援していきます。

③ スポーツ・レクリエーション活動の推進

ア 生涯スポーツの推進

幼児期から学童期、青年期の子どもたちの心身ともに健やかな成長に寄与し、運動・スポーツ活動が豊かなものとなる環境づくりに総合的に取り組みます。

イ スポーツイベントの充実

町民の健康づくりをはじめ、町民の交流につながる、水泳教室や大洗マラソン サンビーチ・マイルレースなど各種スポーツ教室・スポーツイベントを定期的に開催します。

ウ スポーツ施設環境の充実

町民が安全で快適に運動・スポーツ活動を楽しめるよう施設の安全確保に努めるとともに、利便性の向上を目指した施設の整備・充実を図ります。

④ スポーツ指導者・団体育成、強化

ア 団体の育成・強化

スポーツ団体の維持継続を促進していくため、スポーツ協会やスポーツ少年団の活動を支援します。

イ 指導者の育成・発掘

スポーツ協会や各競技団体等による、指導者の育成や指導技術の向上を支援し、スポーツ指導者の養成と確保をさらに推進します。また、子どもたちの部活動指導者としての活用にもつなげていきます

ウ プロスポーツチームとの交流機会の充実

プロスポーツ選手やトップアスリートとの交流は、一流の技術や指導に触れることが出来る機会であり、スポーツ活動への意欲や技術の向上に繋がります。「プロスポーツチームによるスポーツ教室」等を企画し、交流機会の提供を図ります。

⑤ 芸術文化活動の充実

ア 優れた芸術や文化に触れる機会の確保

町民会館を活用し、高次高質な芸術文化公演や映画上映会などを開催し、住民が多様な芸術文化に触れる機会を提供します。また、子どもたちを対象とする「芸術鑑賞の集い」を開催し、優れた舞台芸術等を鑑賞する機会を提供します。

イ 芸術文化施設の維持充実

町民の芸術文化活動の場ならびに成果を発表する場を確保するため、芸術文化の拠点となっている町民会館の維持補修に努めます。また、利用者のニーズに応じた町民会館にするため、インターネット環境の整備など町民会館設備の充実を進めていきます。

⑥ 文化団体の活動の推進・支援

ア 芸術文化団体の支援

- ・ 大洗町芸術文化協会との連携を図り、芸術文化祭の開催など広く町民が参加できる芸術文化活動を支援します。
- ・ 大洗町芸術文化協会の会員を講師として体験教室を実施することで、会員の日頃の研鑽を発揮する場並びに町民が文化活動などに興味・関心を持てるような場の創出を図ります。

(4) 歴史資源の保存と活用

郷土に所在する文化財は、地域の歴史の中で生まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産です。大洗町の歴史資源である様々な文化財を調査・保存し、史跡整備や博物館の展示、広報を通じて住民の郷土愛を育むとともに、郷土教育さらには観光資源としての活用にも取り組んでいきます。

① 文化財の保護活用

ア 地域計画の策定と保護活用

- ・ 地域計画の策定・推進を通じて、地域の多様な文化財の掘り起こしが進み、新たに見いだされた文化財の保護に繋がると共に、民間団体をはじめ多様な主体の参画を得ることで、所有者や行政だけでは難しい未指定文化財を含む幅広い文化財の積極的な保存・活用を推進します。
- ・ 地域に残された100を超す周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）は、大洗町の大切な歴史の歩みを示す集落跡や古墳であることから、今後の開発事業と調整し、なるべく地下保存の策を講じながら、未来に継承していきます。

イ 多様な文化財の普及啓発

- ・ 町広報誌、町公式ホームページ、SNSなどの媒体を利用して、文化財の保存・活用に関する情報を発信、やりとりを通して、大洗町の歴史資源に日頃から触れる機会を作り、愛着を持つ土壌を形成します。

② 磯浜古墳群の保存管理・史跡整備

ア 保存活用計画の推進と整備計画の策定

- ・ 史跡磯浜古墳群保存活用計画に基づいて、保存管理・活用・整備・運営体制、それぞれについて取り組むために、令和5年度から5年単位の短期・中期・長期計画に分けて、実施していきます。
- ・ 磯浜古墳群史跡整備検討委員会を組織し、追加調査や復元整備、地域振興、観光資源な

ど、整備の方向性と方針について検討し、史跡整備計画を策定していきます。

イ 保存管理と追加指定

- ・ 磯浜古墳群を将来に残すため、指定古墳別に、保存・調査研究・管理に関わる施策を進めます。
- ・ 民有地の国指定地については、町で取得し公有化を図るとともに、古墳を傷めたり景観を遮ったりする樹木については、適正に管理を進めます。
- ・ 坊主山古墳の墳丘など、指定地と同等の遺構が埋没する範囲については、地権者の了解を得ながら、史跡として追加指定を目指します。

ウ 活用・史跡整備

- ・ 磯浜古墳群を散策できる散策路の整備、経路を誘導する看板や古墳の価値が理解できる説明板の設置、回遊マップや古墳マップを印刷・配布するなど、アプローチの整備を進めます。
- ・ 磯浜古墳群の本質的価値や調査成果、古墳群を歩く史跡探訪、出土遺物についての展示や体験活動を通して、児童生徒や町民による磯浜古墳群の理解を深めていきます。
- ・ 企画展やシンポジウムを通して、知る、経験する機会を増やすことで、整備に向けた機運を醸成していきます。

③ 博物館における歴史文化の普及

ア 博物館展示内容の充実

- ・ 博物館の性格を考慮し、館の研究成果を反映させた企画展や当館の立地条件・季節感を活かし、子どもたちから大人まで楽しんでいただけるような特別展などを開催します。
- ・ 資料保護の観点や来館者が訪れる度に新たな資料と出会える機会の充実を図るため、常設展示も展示替えを行い、ホームページやSNSで周知します。

イ 教育普及活動の推進

- ・ 企画展・特別展、常設展示などに関連する講演会や館長や研究者による講座、ワークショップ、史跡探訪などを通して展示内容や地域などに関する理解を深めたり体験したりできる機会の充実を図ります。
- ・ 町内の小中学校と連携し、児童生徒が見学、職場体験できる機会を設けるとともに児童が郷土テキスト「大洗道」で地域や歴史について学んだり、調べたりする方法などの指導・助言を行います。

ウ 認知度の向上と情報発信の充実

広報誌や看板、チラシ・ポスターなど従来の広報手段に加え、ホームページやSNSを活用することで、博物館やその活動が広報・PRされるよう、より効果的な情報発信に努めます。

(5) 教育委員会の運営の強化

本町教育の振興に寄与する使命感に立ち、円滑適正な教育行政を推進するように努める。

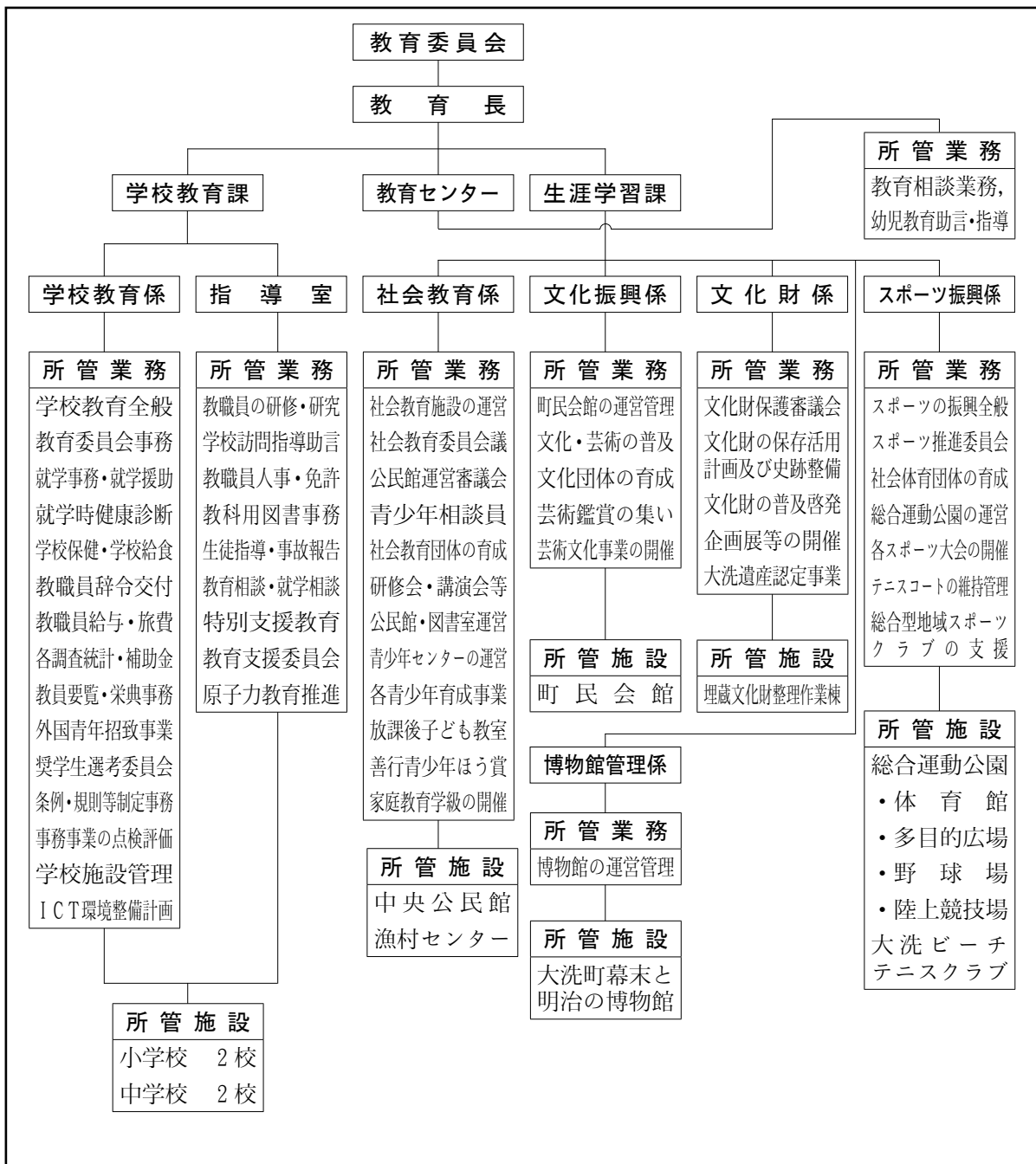
- ① 社会の動向や町民の意向を的確に把握し、適正な施策展開を図る。
- ② 町、町議会、関係機関団体等との連携に努める。
- ③ 施策の充実を図るとともに、予算の適正な執行と効果的な運用に努める。
- ④ 事務局の組織体制を整備し、事務執行の合理化、能率化を図り即時対応に努める。
- ⑤ 勤務意識と研修意識の高揚を図るとともに、明るい民主的な職場づくりに努める。
- ⑥ 効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすため、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を議会に提出し、公表をする。

4 教育委員会

(1) 教育委員会

職 名	委 員 名	任 期	住 所
教 育 長	長谷川 馨	令和 9. 3. 31	大洗町大貫町607-1
教育長職務代理人	伊 藤 雅 彦	令和 8. 9. 30	大洗町和銅7-2
委 員	小野瀬 繁 子	令和 9. 9. 30	大洗町大貫町223
委 員	生 越 達	令和 7. 9. 30	水戸市赤塚 1 丁目404-33
委 員	小野瀬 敦 子	令和10.12. 8	大洗町桜道町21

(2) 教育行政組織図



(3) 教育委員会の沿革

歴代教育長

代	氏 名	就 任	離 任
初代	田 中 義 弘	昭31.10.1	昭34.9.30
2代	木 内 政 鋪	34.10.1	43.12.31
3代	後 藤 文	44.4.1	51.4.30
4代	猿 田 治	51.5.1	55.9.30
5代	田 口 常 吉	55.12.15	平4.12.8
6代	石 川 敏 夫	平4.12.9	8.12.8
7代	加 藤 一 五	8.12.9	20.12.8
8代	飯 島 郁 郎	20.12.9	令3.3.31
9代	長谷川 馨	令3.4.1	

歴代教育委員長

代	氏 名	就 任	離 任
初代	黒 田 正	昭31.10.1	昭39.9.30
2代	寺 内 淳	39.10.1	44.9.30
3代	郡 司 次 郎	44.10.1	47.9.30
4代	深 作 清	47.10.1	49.9.30
5代	吉 川 賢一郎	49.10.1	56.9.30
6代	関 野 清兵衛	56.10.1	62.9.30
7代	茂 木 清 文	62.10.1	平5.9.30
8代	大 谷 正 明	平5.10.1	6.9.30
9代	関 根 健 夫	6.10.1	8.9.30
10代	唐 笠 實	8.10.1	10.9.30
11代	柵 山 美代子	10.10.1	22.9.30
12代	岩 波 忠 夫	22.10.1	26.9.30
13代	會 澤 治	26.10.1	27.3.31

※新教育委員制度のため廃止

沿 革 史

昭29. 11. 3 町村合併促進法に基づき、磯浜町、大貫町が合併、大洗町誕生、大洗町教育委員会が設立、田中義弘、土子太伊蔵、大貫熊雄、山本貴光、山西弘治が教育委員に、教育委員会書記倉田守義が教育長事務取扱となる
磯浜町立磯浜小学校は大洗町立磯浜小学校、磯浜町立祝町小学校は大洗町立祝町小学校、大貫町立大貫小学校は大洗町立大貫小学校、磯浜町立磯浜中学校は大洗町立第一中学校、大貫町立大貫中学校は大洗町立第二中学校となる

30. 7. 23 鹿島郡旭村の一部（旧夏海村）が編入
旭村立夏海小学校は大洗町立夏海小学校、旭村立夏海中学校は大洗町立第三中学校となる

昭30. 10. 20 教育委員の選挙が実施され黒田正、田中義弘、中原命、坂場善造が選出される

30. 11. 4 町議会選出委員の大貫熊雄が教育委員長に選出される

31. 7. 21 教育長事務取扱倉田守義は町長事務部局へ、後任は大川保

31. 9. 30 教育委員総辞職

31. 10. 1 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員は町長が任命、黒田正、田中義弘、中原命、米川競、石井力となり、教育委員長に黒田正、教育長に田中義弘選出

32. 10. 1 教育委員石井力再任

33. 10. 1 教育委員米川競再任

33. 11. 1 大洗町町章制定

34. 8. 27 教育委員米川競退任（逝去）

34. 9. 30 教育長田中義弘、町議選出馬のため退任

34. 10. 1 教育委員中原命再任、坂本彦市、木内政鋪教育委員に任命、教育長に木内政鋪選出

34. 10. 7 大貫小学校完全給食実施

35. 4. 1 統合により、第二中学校、第三中学校は、南中学校となる。

35. 10. 1 教育委員黒田正、同坂本彦市再任、委員長に黒田正選出

36. 9. 30 教育委員石井力任期満了退任

36. 10. 1 寺内淳教育委員に任命

37. 3. 30 教育委員中原命、名古屋へ転居のため辞職

37. 4. 6 南中学校新校舎で始業

37. 10. 1 大西俊明教育委員に任命、教育長木内政鋪再任

38. 10. 1 教育委員大西俊明再任

39. 3. 1 夏海小学校完全給食実施

39. 4. 24 第一中学校体育館竣工

39. 9. 30 教育委員黒田正、同坂本彦市、任期満了により退任

39. 10. 1 笥二郎、後藤清一教育委員に任命、委員長に寺内淳選出

40. 4. 1 南中学校完全給食実施

40. 10. 1 祝町小学校完全給食実施
委員長に寺内淳再任

41. 3. 31 第一中学校防音校舎 3 階建完成

41. 10. 1 教育委員寺内淳、同木内政鋪再任、委員長に寺内淳再任、教育長に木内政鋪再任

41. 10. 7 磯浜小学校完全給食実施

42. 3. 31 磯浜小防音校舎第 1 期工事完成、第一中防音校舎 4 階建完成

42. 10. 1 教育委員大西俊明再任

昭43. 3. 31 磯浜小防音校舎第2期工事完成
 43. 4. 4 教育委員大西俊明退任（逝去）
 43. 5. 24 郡司次郎教育委員に任命
 43. 9. 30 教育委員筧二郎、任期満了退任
 43. 10. 1 教育委員後藤清一再任
 43. 11. 8 事務局を大洗町磯浜町665番地に移転
 43. 12. 8 後藤文教育委員に任命
 43. 12. 31 教育長木内政鋪退任
 44. 1. 1 事務局長高野勇瀬、教育長職代理者に任命
 44. 2. 20 祝町小学校防音校舎完成
 44. 2. 28 大貫小学校防音校舎完成
 44. 3. 18 深作清教育委員に任命
 44. 4. 1 教育委員後藤文を教育長に選出
 44. 9. 30 教育委員寺内淳、任期満了退任
 44. 10. 1 吉川賢一郎教育委員に任命
 委員長に郡司次郎選出
 45. 3. 15 夏海小学校防音校舎完成
 45. 3. 31 教育委員後藤清一退任
 昭和44年度地方教育費調査及び
 教育行政調査で、文部大臣表彰
 を受ける
 45. 4. 1 関昭一郎教育委員に任命
 45. 10. 1 教育委員深作清、郡司次郎再任
 委員長に郡司次郎再選
 46. 1. 10 第一中学校温度保持工事完成
 46. 4. 1 第一中学校完全給食実施
 46. 4. 12 夏海幼稚園開園
 46. 11. 27 役場新庁舎完成により、役場内
 に事務局を移転
 47. 4. 11 祝町幼稚園開園
 47. 9. 30 委員郡司次郎退任
 47. 10. 1 教育委員関昭一郎再任、教育長に
 後藤文再選、委員長に深作清選出
 48. 1. 10 教育委員郡司次郎退任（逝去）
 48. 3. 20 田崎龍太教育委員に任命
 48. 3. 31 磯浜小学校温度保持工事完成
 48. 4. 10 祝町幼稚園2年保育開始
 48. 10. 1 教育委員吉川賢一郎再任
 48. 12. 10 大貫小学校温度保持工事完成
 49. 4. 1 県立大洗高等学校創立
 49. 9. 30 教育委員深作清、任期満了退任
 49. 10. 1 大谷正明教育委員に任命、教育
 委員長に吉川賢一郎選出
 50. 1. 21 南中学校格技場完成
 50. 10. 1 教育委員田崎龍太再任
 51. 3. 16 磯浜小学校屋内運動場完成
 51. 4. 30 教育長後藤文退任
 51. 5. 1 猿田治教育委員に任命され、教
 育長に選出
 51. 9. 30 教育委員関昭一郎退任
 51. 10. 1 梶尾馨教育委員に任命、教育長

猿田治再選
 昭51. 12. 25 夏海小学校温度保持工事完成
 52. 3. 24 南中学校南側防音改造工事完成
 52. 10. 1 教育委員吉川賢一郎再任
 52. 12. 15 祝町小学校温度保持工事完成
 53. 2. 28 祝町小、夏海小屋内運動場完成
 53. 9. 30 第一中学校グランド完成
 53. 10. 1 教育委員大谷正明再選
 54. 2. 1 南中学校北側防音改造工事完成
 54. 3. 20 大貫小学校屋内運動場完成
 54. 4. 10 磯浜幼稚園開園
 54. 9. 30 教育委員田崎龍太退任
 54. 10. 1 増田栄一教育委員に任命
 55. 5. 22 第一中学校格技場完成
 55. 6. 4 動く図書館「ひまわり号」誕生
 55. 7. 20 町営プールオープン（50m）
 55. 8. 17 第一中学校夜間照明施設完成
 55. 9. 30 教育委員梶尾馨、教育長猿田治退任
 55. 12. 9 関野清兵衛、田口常吉教育委員
 に任命
 55. 12. 15 教育長に田口常吉選出
 56. 9. 30 教育委員吉川賢一郎退任
 56. 10. 1 茂木清文教育委員に任命、委員
 長に関野清兵衛を選出
 57. 6. 11 大洗文化センター完成（町民会
 館、漁村センター、中央公民館）
 57. 7. 1 教育委員会事務局文化センター
 内に移転（磯浜町6881番地）
 57. 9. 27 南中学校運動部室、物置完成
 57. 10. 1 教育委員大谷正明再任
 58. 5. 10 中央公民館に図書室開設
 58. 10. 1 教育委員増田栄一再任
 59. 3. 19 大洗町教育振興基金条例制定
 59. 5. 1 町営テニスコート開設
 59. 12. 9 教育委員関野清兵衛、同田口常
 吉再任、教育委員長関野清兵衛、
 教育長田口常吉再任
 59. 12. 19 町民憲章 町の花（つつじ）
 木（松） 鳥（かもめ）制定
 60. 6. 30 教育委員増田栄一退任
 60. 7. 1 高須千恵教育委員に任命
 60. 9. 14 南中学校グラウンド整地完成
 60. 10. 1 教育委員茂木清文再任
 60. 12. 25 大洗町教育目標制定
 61. 3. 31 「大洗町史（通史編）」発刊
 61. 4. 1 大洗町学校教育指導員設置
 61. 5. 10 「教育要覧」発刊
 61. 10. 1 教育委員大谷正明再任
 61. 10. 30 大洗町総合運動公園起工式
 62. 8. 1 中学校外国語指導助手の採用
 62. 8. 25 第1回親子ふれ合いの旅
 ～29（大洗→北海道）実施
 62. 9. 30 教育委員関野清兵衛退任

昭62. 10. 1 教育委員茂木清文教育委員長に選出
 62. 10. 1 教育委員高須千恵再任
 62. 10. 9 南中学校屋内運動場改修工事完了
 63. 6. 1 大洗町総合運動公園多目的広場完成
 63. 12. 8 教育委員関野清兵衛退任
 63. 12. 9 坂本英彦教育委員に任命 教育委員田口常吉再任 教育長田口常吉再選
 64. 1. 8 新元号「平成」制定
 平成. 3. 31 小学校社会科副読本「おおあらい」改訂版発行
 元. 10. 1 教育委員茂木清文再任教育委員長に再選
 2. 3. 8 教育委員坂本英彦退任（逝去）
 2. 6. 11 教育委員会事務局付属庁舎2階に移転（磯浜町6881番地の275）
 2. 10. 1 教育委員大谷正明再任 茂木清文教育委員長に再選
 3. 3. 18 石井藤吉郎教育委員に任命
 3. 3. 31 テニスコート夜間照明施設完成
 3. 8. 19 第2回親子ふれ合いの旅
 ～23 （大洗→北海道）実施
 3. 9. 30 教育委員高須千恵退任
 3. 10. 1 関根健夫教育委員に任命 茂木清文教育委員長に再選
 3. 10. 20 総合運動公園野球場完成
 4. 9. 12 学校週5日制（第2土曜日）実施
 4. 9. 18 生涯学習推進協議会・生涯学習推進本部発足
 4. 12. 8 田口教育長任期満了により退任
 4. 12. 9 石川敏夫教育委員に任命 教育長に石川敏夫選出
 4. 12. 9 石井藤吉郎教育委員に再任
 5. 2. 3 青少年電話相談事業開始
 5. 9. 30 茂木清文教育委員長任期満了により退任
 5. 10. 1 唐笠實教育委員に任命
 5. 10. 13 大谷正明教育委員長に選出
 6. 2. 1 平成4年度学校教員統計調査成績優秀につき文部大臣表彰
 6. 3. 31 小学校社会科副読本「おおあらい」改訂初版発行
 6. 4. 1 事務局を学校教育課生涯学習課の2課制に組織替え
 6. 4. 1 第一中学校を平成6年度「学級経営」研究校に指定
 6. 4. 1 平成6年度文部省「父親の家庭教育参加支援事業」の指定を受ける
 6. 7. 23 「まると北海道体験教室」
 ～28 実施 子供会リーダー79名参加
 6. 9. 30 大谷正明教育委員長任期満了により退任

平6. 10. 1 柵山美代子教育委員に任命
 6. 10. 1 関根健夫教育委員長に選出
 7. 4. 1 事務局に次長制を設ける
 小松崎力一郎教育次長兼学校教育課長に就任
 7. 4. 14 第一中学校体育館完成、落成式
 7. 6. 1 平成7年度文部省「青少年交流推進事業」の委託を受ける（青少年育成会議）
 ・アイアンキッズクラブ事業スタート
 ・海っ子山っ子体験交流事業スタート
 7. 6. 15 南中学校が平成7・8年度「道徳教育推進校」として文部省より指定される
 7. 10. 1 関根健夫教育委員に再任 教育委員長に選出される
 7. 10. 10 第1回ニュースポーツまつり開催
 8. 2. 18 第1回公民館まつり開催
 8. 7. 2 学校地域連携研究会設置
 8. 8. 24 第1回石井藤吉郎杯中学校野球大会開催
 ～25
 8. 9. 30 関根健夫教育委員長退任
 8. 10. 24 唐笠實教育委員長に選出
 8. 12. 8 石川敏夫教育長任期満了退任
 8. 12. 9 加藤一五教育委員に任命 教育長に加藤一五選出（12/10就任）石井藤吉郎教育委員に再任
 9. 3. 15 共育シンポジウム開催
 共育読本「きらきら大洗っ子」発刊
 9. 5. 10 第1回大洗町近郊中学校バスケットボール大会開催
 ～11
 9. 9. 30 唐笠實教育委員長再任
 9. 10. 1 平成9年度教育委員会活性化シンポジウム（第1ブロック）において共育読本の取組みを発表
 10. 1. 14 南中学校改築基本構想作成
 10. 2. 17 学校地域研究会、研究の成果をまとめる
 10. 3. 25 夏海小学校特別教室棟完成
 10. 10. 1 柵山委員再任、教育委員長に選出
 10. 10. 12 南中学校改築工事安全祈願祭
 10. 12. 24 祝町小学校特別教室棟完成
 11. 4. 1 O A R A I 健康とスポーツのまちづくりプラン策定
 11. 6. 30 教育委員石井藤吉郎退任（逝去）
 11. 8. 4 南中学校・東棟完成
 11. 9. 21 荻沼三郎教育委員に任命
 11. 10. 1 関根健夫教育委員に再任
 11. 10. 25 柵山教育委員委員長に再任
 11. 12. 20 教育委員関根健夫退任（転居）
 12. 2. 26 南中学校・南棟・西棟完成

平12. 3. 5 第1回町生涯学習フェスティバル開催

12. 4. 1 加藤理教育委員に任命

12. 4. 21 南中学校完成、竣工式

12. 8. 1 中学校外国語指導助手2名体制

12. 8. 25 町内4小学校、祝町幼稚園トイレ等改修工事完了

12. 11. 1 高校総体推進室設置

12. 12. 9 教育長加藤一五再選

13. 1. 20 唐笠實教育委員再任

13. 3. 22 町幼稚園教育振興計画策定

13. 6. 30 大洗第一中学校基本構想作成

13. 7. 18 週休2日制対応検討委員会設置

13. 9. 30 唐笠實教育委員再任

13. 10. 1 柵山美代子教育委員長再任

14. 8. 1 全国高校総体（インターハイ）
～5 女子バレーボール競技大会開催

14. 8. 27 「北海道洋上体験学習」実施
～31 小学6年生

14. 10. 1 柵山美代子教育委員に再任 教育委員長再任

15. 10. 1 柵山美代子教育委員長再任

15. 10. 1 加藤理教育委員に再任

16. 10. 1 柵山美代子教育委員長再任

16. 10. 21 ブックスタート事業開始

16. 12. 8 教育委員荻沼三郎退任

16. 12. 9 飯島一敬教育委員に任命

16. 12. 9 加藤一五教育委員に任命
教育長加藤一五再任

17. 7. 3 通学宿舎（7泊8日）事業開始
～10

17. 7. 28 カデット アジアレスリング選手権大会
～30

17. 9. 30 教育委員唐笠實退任

17. 10. 1 柵山美代子教育委員長再任

17. 10. 1 大山岳夫教育委員に任命

18. 10. 1 柵山美代子教育委員に再任、教育委員長再任

18. 10. 6 全国生涯学習フェスティバルin
～9 大洗開催

18. 12. 13 第一中学校完成・竣工式

19. 3. 31 総合型地域スポーツクラブ設立（夢town大洗スポーツクラブ）

19. 10. 1 柵山美代子教育委員長再任

19. 10. 1 加藤理教育委員に再任

20. 4. 1 学校給食費補助制度実施開始

20. 10. 1 柵山美代子教育委員長再任

20. 11. 3 第23回国民文化祭いばらき2008
文芸祭「現代詩」大会の開催

20. 12. 8 教育委員飯島一敬退任

20. 12. 8 教育長加藤一五任期満了により退任

20. 12. 9 宮部理佳教育委員に任命

20. 12. 9 飯島郁郎教育委員に任命

教育長に飯島郁郎選出

平21. 10. 1 大山岳夫教育委員再任

21. 11. 21 南中学校創立50周年記念事業及び式典

21. 11. 26 磯浜小学校・祝町小学校新校舎基本構想作成

22. 3. 31 町営テニスコート廃止（前原）

22. 4. 1 町営テニスコート設置（東光台）

22. 6. 1 大洗町幕末と明治の博物館管理運営開始

22. 9. 30 教育委員柵山美代子退任

22. 10. 1 岩波忠夫教育委員に任命

22. 10. 1 委員長に岩波忠夫選任

22. 10. 6 大洗塾放課後チャレンジ教室の開設

23. 3. 11 東日本大震災により被害を受ける（町の震度5強：津波4.2m（東大地震研究所発表4.9m））

23. 3. 7 磯浜・祝町小統合校 校名「大洗小学校」に決定

23. 7. 21 大洗塾「夏休みチャレンジ教室」の開設

23. 9. 29 大洗小学校校章デザイン決定
校章制定

23. 10. 1 岩波忠夫教育委員長再任

23. 10. 1 加藤理教育委員に再任

24. 1. 5 大洗文化センター再開

24. 1. 17 大洗小学校校歌完成

24. 3. 4 磯浜小学校閉校記念式典（創立138年）

24. 3. 11 祝町小学校閉校記念式典（創立138年）

24. 4. 6 大洗小学校開校式典

24. 7. 2 校舎整備懇談会開催（大貫小学区）

24. 7. 5 校舎整備懇談会開催（夏海小学区）

24. 7. 19 書家：川又南岳氏による揮毫式（大洗小学校）

24. 8. 23 「豊かな心育成宣言」大会開催

24. 10. 1 岩波忠夫教育委員長再任

24. 10. 14 大洗国際オープンテニストーナメント開催
～21

24. 12. 8 教育委員宮部理佳退任

24. 12. 9 田山明子教育委員に任命

24. 12. 9 飯島郁郎教育委員に再任
教育長飯島郁郎再選

25. 3. 31 大洗町教育振興基本計画策定

25. 9. 30 教育委員加藤理退任

25. 9. 30 教育委員大山岳夫退任

25. 10. 1 會澤治教育委員に任命

25. 10. 1 鯨岡敬子教育委員に任命

25. 10. 13 町民スポーツフェスティバル開催

25. 10. 31 大貫小学校・夏海小学校新校舎基本構想作成

26. 9. 30 教育委員岩波忠夫退任

26. 9. 30 教育委員田山明子辞任

26. 10. 1 伊藤雅彦教育委員に任命

平26. 10. 1	下山一仁教育委員に任命	令3. 3. 31	教育長飯島郁郎任期満了により 退任
26. 10. 1	委員長に會澤治選任	3. 3. 31	教育委員會澤治退任
27. 3. 20	大貫小・夏海小統合校 校名 「南小学校」に決定	3. 4. 1	長谷川馨教育長に任命
27. 3. 31	教育長飯島郁郎辞任	3. 4. 1	小野瀬繁子教育委員に任命
27. 4. 1	飯島郁郎教育長に任命（新教育 制度に移行）	3. 4. 1	G I G A スクール構想に基づく 運用開始
27. 10. 1	會澤治教育委員に再任	3. 4. 1	小野寺淳幕末と明治の博物館長 に任命
28. 2. 28	夏海小学校閉校式典	3. 10. 1	岡部千草教育委員に再任
28. 3. 5	大貫小学校閉校式典	4. 3. 10	中央公民館図書室へ図書管理シ ステム導入
28. 3. 23	南小学校校歌発表会 谷川俊太郎詩の朗読と音楽の会	4. 3. 31	体験活動交流センター廃止
28. 3. 25	南小学校竣工式典	4. 3. 31	第一中学校夜間照明施設廃止
28. 4. 6	南小学校開校式典	4. 4. 1	町営キャンプ場一元化（大洗キャ ンプ場の所管が商工観光課に）
28. 10. 14	教育長飯島郁郎地方教育行政功 労者表彰	4. 10. 1	伊藤雅彦教育委員に再任
28. 12. 9	教育委員下山一仁再任	4. 11. 1	オンライン英会話開始
29. 3. 31	第2期教育振興基本計画策定	4. 3. 31	放課後英語教室終了
29. 9. 30	教育委員鯨岡敬子退任	5. 4. 1	英語検定料補助の拡充（小学生まで）
29. 10. 1	岡部千草教育委員に任命	5. 4. 1	外国語指導助手（A L T）の配 置拡充
30. 4. 1	飯島郁郎教育長に再任	5. 10. 1	小野瀬繁子教育委員に再任
30. 6. 1	大洗サイエンスカレッジ開校	5. 10. 24	史跡磯浜古墳群保存活用計画策定
30. 7. 24	磯節・大洗遺産第1号認定	6. 4. 1	長谷川馨教育長に再任
30. 10. 1	伊藤雅彦教育委員に再任	6. 9. 24	教育大綱改正
30. 10. 29	南小学校・中学校共用体育館完成	6. 9. 30	第3期教育振興基本計画策定
令元. 10. 1	會澤治教育委員に再任	6. 9. 30	岡部千草教育委員退任
2. 3. 10	磯浜古墳群国史跡指定	6. 10. 1	生越達教育委員に任命
2. 4. 1	放課後英語教室開始	6. 12. 8	山戸章弘教育委員退任
2. 4. 1	中学生の英語検定料補助金交付 開始	6. 12. 9	小野瀬敦子教育委員に任命
2. 12. 8	教育委員下山一仁退任	7. 3. 25	祝町幼稚園閉園式
2. 12. 9	山戸章弘教育委員に任命		

(4) 教育委員会事務局

所 属	役 職 名	氏 名	所 属	役 職 名	氏 名
大洗町教育委員会	教育長	長谷川 馨	生涯学習課	生涯学習課長	磯 崎 宗 久
学校教育課	次長兼学校教育課長	深 作 和 利	〃	社会教育係長	大 部 千亜紀
〃	学校教育係長	菅 谷 規 広	〃	係 長	佐 藤 礼 子
〃	主 任	加 藤 智 代	〃	主 事	坂 本 瑞 歩
〃	主任(管理栄養士)	飛 田 愛	〃	文化振興係長	西 秋 哲 也
〃	主 任	佐 藤 翔 平	〃	主 事	大 場 美香子
〃	主 事	山 本 直 矢	〃	文化財係長	蓼 沼 香未由
〃	主 事	河 畑 成 海	〃	主 任	栗 原 敬 太
〃	指導室長	平 井 剛	〃	スポーツ振興係長	石 井 健 志
〃	指導室長補佐	黒 澤 智 宣	〃	主 事	山 中 啓 嗣
〃	主 査	黒 羽 敦	〃	博物館管理係長 (主任学芸員)	尾 崎 久美子
〃	主 任	川野邊 慧	〃	係 長	櫻 井 栄 司
〃	主任(社会教育主事)	部 実	〃	主 事	鈴 木 美 穂
教育センター	センター長	飯 島 郁 郎	〃		

(5) 教 育 予 算

○ 令和7年度一般会計予算規模 10,735,000千円

○ 教育予算内訳 (総予算 829,735千円 総予算の7.7%)

(単位:千円)

項 目	予 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
10 教 育 費	829,735	68,588		192,097	569,050
1 教 育 総 務 費	385,013	1,922		109,935	273,156
教 育 委 員 会 費	1,386				1,386
事 務 局 費	213,251	1,371		27,859	184,021
学 校 財 産 管 理 費	69,335	551		949	67,835
育 英 事 業 費	32,040			12,126	19,914
教 育 振 興 基 金 費	13,641			13,641	
外国語指導助手配置事業費	55,360			55,360	
2 小 学 校 費	100,379	20,588		3,800	75,991
学 校 管 理 費	72,911	20,588			52,323
小 学 校 給 食 費	7,855			3,500	4,355
教 育 振 興 費	19,613			300	19,313
3 中 学 校 費	95,354	14,491		6,800	74,063
学 校 管 理 費	64,847	14,448			50,399
中 学 校 給 食 費	7,798			500	7,298
教 育 振 興 費	22,709	43		6,300	16,366
4 社 会 教 育 費	206,488	30,387		54,731	121,370
社 会 教 育 総 務 費	87,154	4,715			82,439
公 民 館 費	26,559			16,891	9,668
青 少 年 育 成 事 業 費	16,153	1,803		12,641	1,709
文 化 財 保 護 費	43,140	23,869		12,236	7,035
博 物 館 費	33,482			12,963	20,519
5 保 健 体 育 費	42,501	1,200		16,831	24,470
保 健 体 育 総 務 費	18,640	1,200		13,181	4,259
総 合 運 動 公 園 管 理 費	23,861			3,650	20,211

5 学 校 教 育

(1) 大洗町立学校の概要

大洗小学校



学校名：大洗町立大洗小学校
 所在地：大洗町磯浜町5316-1
 校長名：小沼 正美
 電 話：267-5188
 F A X：267-0631
 メール：511305@sch.ibk.ed.jp

創立 平成24年 記念日 12月12日

1) 学校の教育目標

教育目標 「ふるさとを愛し 夢や希望の実現に向けて 力強く歩む児童の育成」
 <目指す児童像>
 夢や希望をもち 明るく元気に学ぶ児童（元気に、楽しく）

2) 本年度の重点目標

- 1 学級経営の充実に努め、児童一人一人のよさを伸ばす（学級集団づくり）
- 2 学習指導の充実に努め、児童一人一人の学力の向上を図る（授業づくり）
- 3 個別的な配慮を必要とする児童に対する指導の充実
- 4 信頼される学校づくり

3) 研究課題・学校の特色

- ◎ 研究課題
 「算数科における基礎的な知識・技能の定着を図る指導の在り方」
 ～ どの子も伸びる探求的な授業の工夫 ～
- ◎ 学校の特色
- 高学年における教師の得意分野を生かした教科担任制
 - 知性と教養、豊かな心を育むための読書活動の推進
 - 地域における社会教育と学校教育の連携による豊かな学び
 - ・漁業体験、商業体験、風鈴づくり
 - ・クラブ活動における地域人材活用
 - ・地域コミュニティ主催による「いささかりんりん祭り」、親子木工教室
 - 休業日等における「総合的な学習の時間」の学校外での学習活動
 - ・郷土資料集「大洗道」の活用
 - ・児童の主体性を生かした探求課題「博士ちゃん」
 - ・SDGsの視点に立った地域や社会をよりよくするための実践的な課題解決型学習
 - 食育教育の充実
 - ・栄養教諭と学級担任との協働授業
 - ・給食だよりによる保護者への啓発

4) 児童数

() 内数※特別支援学級児童

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男	31(2)	31(4)	25(6)	33(8)	29(6)	37(1)	186(27)
女	20(0)	30(2)	26(0)	40(3)	35(2)	42(5)	193(12)
計	51(2)	61(6)	51(6)	73(11)	64(8)	79(6)	379(39)

5) 学級数

学 級	14
特支(知)	4
特支(情)	2
合 計	20

6) 教職員数

教 職 員				養護	事務職		栄養	ALT	用務	非常勤講師		合 計
校長	教頭	教諭	講師		県	町				県	町	
1	1	23	4	1	1		1	2	1		5	40

南小学校



創立 平成28年 記念日 6月13日

学校名：大洗町立南小学校
所在地：大洗町大貫町1212番地の14
校長名：福田 雅美
電 話：264-5373
F A X：267-1373
メー ル：511306@sch.ibk.ed.jp

1) 学校の教育目標

教育目標

一人一人のよさを生かし、自主性・協調性・創造性に富んだ未来を拓く児童の育成
〈めざす児童像〉
夢や希望をもち、自分に自信がもてる児童
①みんなで考え ②かよく元気に ③らいにむかって「トライ」!

2) 本年度の重点目標

○豊かな人間性と温かい集団の育成を目指した教育活動	(豊かな心づくり)
○確かな学力の習得と活用する力の育成	(確かな学びづくり)
○健全な心身の保持増進	(健やかな体づくり)
○家庭や地域と連携した教育活動の推進	(開かれた学校づくり)

3) 研究課題・学校の特色

- ◎ 研究課題
「対話」から新たな価値を創る - 教科や学校の枠を超えた学びのデザインを通して -
- ◎ 学校の特色
 - ・自己有用感の高揚につながる特別活動や縦割り班活動等の異学年交流の充実
 - ・豊かな心を育むための読書活動の推進 (図書ボランティアや読み聞かせ団体との連携)
 - ・特別支援教育の視点に立った個に応じた支援・指導の充実
 - ・専門性を生かした授業の実践と充実 (外国語科・音楽科)
 - ・大洗うみ・まちコミュニティスクール (南エリア) との連携による新たな価値の創造
 - ・地域の人的・物的資源を活用した教育活動の展開 (稲作体験、漁業体験など)
 - ・9年間を見通した小中連携教育の実践

4) 児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男	6(1)	11(3)	17(3)	17(5)	17(5)	12(2)	80(19)
女	19(0)	13(3)	9(0)	16(1)	7(1)	14(1)	78(6)
計	25(1)	24(6)	26(3)	33(6)	24(6)	26(3)	158(25)

() 特支内数

5) 学級数

学 級	6
特支(知)	2
特支(情)	2
合 計	10

6) 教職員数

教 職 員				養護	事務職		栄養	ALT	用務	非常勤講師		合 計
校長	教頭	教諭	講師		県	町				県	町	
1	1	10	4	1	1			2	1		5	26

第一中学校



創立 昭和22年

記念日 4月30日

学校名：大洗町立第一中学校

所在地：大洗町磯浜町5247

校長名：岩城 和久

電 話：267-5288

F A X：267-5943

メー ル：611301@sch.ibk.ed.jp

1) 学校の教育目標

夢や目標に向かって頑張る生徒の育成
— 人間性豊かで徳・体・知の調和のとれた生徒 —

2) 本年度の重点目標

言葉を大切にする学校教育活動の醸成
「受容」事実の受け入れ（感情を汲み取る）「承認」とらえ方変換（リフレーミング）
「行動」してほしい変換（ポジティブ言葉）「促進」背中の一押し（求めている言葉）
「Well-being」の向上（盛り上がる学校生活）

【組織目標】 ポジティブな「言葉」「考え」「行動」により、挑戦する意欲の向上を目指す

- 1 自分の夢や目標実現のために努力できる生徒の育成
(盛り上がる自己肯定感・自己有用感)
- 2 基礎的な生活習慣を身に付けようとする生徒の育成 (盛り上がる心身の健康)
- 3 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、それらを用いて適切に表現する力の向上
(盛り上がる授業)

3) 研究課題・学校の特色

○校内研修課題…生徒一人一人の学力向上のための指導方法の在り方
～意欲的に学習に取り組み、知識及び技能を確実に身に付けるための工夫を通して～

○小中連携事業…自分や相手が大事な存在だと認め、ともに粘り強く学び合う児童生徒の育成

○特色ある教育活動

- (1)「郷土を愛し、新たな事へチャレンジできる大洗っ子」の育成を目指した幼小中連携教育の実践
- (2) 20年以上続く保護者・生徒・教職員による「世界一のあいさつ運動」
- (3) 学校や学年行事における実行委員会を中心とした生徒主体の自主的・自治的活動
- (4) 学級から学年へと繋がる人権フォーラムと「大洗一中人権宣言」の採択

4) 生徒数

() 特支内数

	1年	2年	3年	合計
男	39(7)	27(3)	42(2)	108(12)
女	36(1)	34(0)	40(2)	110(3)
計	75(8)	61(3)	82(4)	218(15)

5) 学級数

学 級	8
特支(知)	2
特支(情)	1
合 計	11

6) 教職員数

教 職 員				養護	事務職		栄養	ALT	用務	非常勤講師		合 計
校長	教頭	教諭	講師		県	町				県	町	
1	1	17	1	1	1			2	1	3	3	31

南中学校



創立 昭和35年 記念日 4月30日

学校名：大洗町立南中学校
 所在地：大洗町大貫町1212-14
 校長名：宇陀 定司
 電 話：267-2942
 F A X：267-2972
 メール：611302@sch.ibk.ed.jp

1) 学校の教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、創造性に富む知性豊かな生徒の育成
 正しい判断力をもち、情操豊かで思いやりのある生徒の育成
 目標達成に向かって粘り強く努力し、心身ともにたくましい生徒の育成

2) 本年度の重点目標

- (1) 豊かな人間性をつちかう教育の推進
- (2) 確かな学力の習得と活用する力の育成
- (3) 健康な心と体を育てる教育の推進
- (4) 社会の変化に対応した教育の充実
- (5) 安心して学べる質の高い教育環境づくり
- (6) 教職員の働き方改革

3) 研究課題・学校の特徴

- ◎ 研究課題
「対話」から新たな価値を創る—教科や学校の枠を越えた学びのデザインを通して—
- ◎ 学校の特徴
 - ・教科教室型学習環境を生かした学習指導
 - ・教科の壁を超えた授業研究による質の高い教育環境づくり
 - ・SDGsの視点に立った特色ある教育活動
 - ・生徒が主体的に考え行動するサークル活動
 - ・9年間を見通した小中連携教育
 - ・地域との連携を生かしたコミュニティースクールの推進
 - ・自主公開「第20回教育実践研究発表会」の実施

4) 生徒数

() 特支内数

	1年	2年	3年	合計
男	21 (6)	22 (2)	17 (0)	60 (8)
女	10 (1)	16 (0)	17 (0)	43 (1)
計	31 (7)	38 (2)	34 (0)	103 (9)

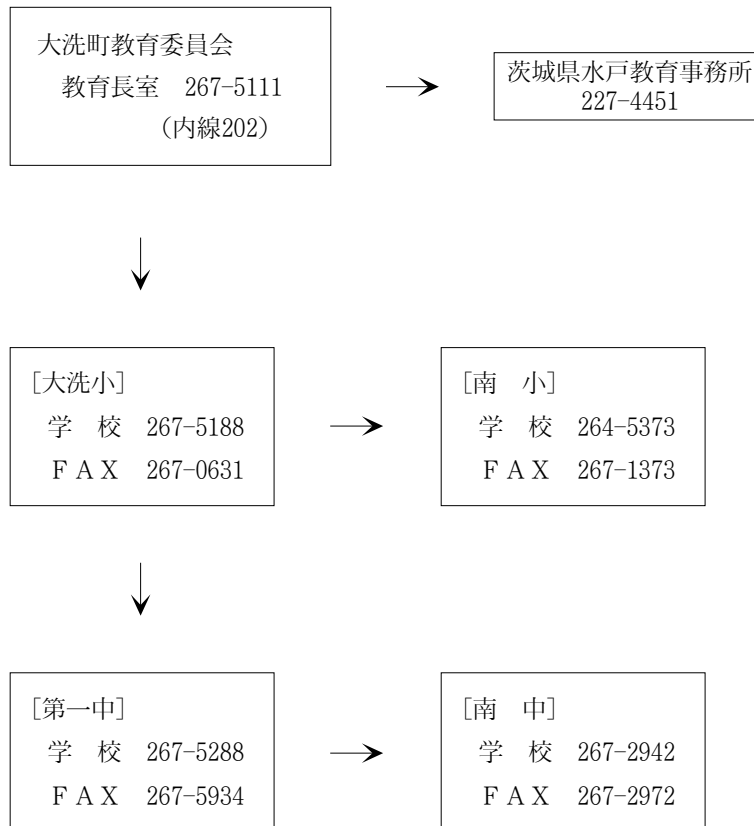
5) 学級数

学 級	3
特支(知)	1
特支(情)	1
合 計	5

6) 教職員数

教 職 員				養護	事務職		栄養	ALT	用務	非常勤講師		合 計
校長	教頭	教諭	講師		県	町				県	町	
1	1	11	1	1	1		1	2	2	2	2	25

(2) 緊急連絡網



(3) 学校施設の概要

(千円)

学校(園)名	校 地	施 設 別	構 造 規 模	年度	建設事業費
大 洗 小 学 校	35,361m ²	校 舎	鉄筋コンクリート 2 F 6,991m ²	H24.3	1,746,266
		体 育 館	鉄 骨 1,000m ²	S 51	102,083
南 小 学 校	15,360m ²	校 舎	鉄筋コンクリート (一部鉄骨) 3 F 4,791m ²	H27.3	1,885,593
		体 育 館 ※南中と共用	鉄筋コンクリート (一部鉄骨) 2 F 1,968m ²	H30.10	609,187
第 一 中 学 校	30,717m ²	校 舎	鉄筋コンクリート 3 F 6,967m ²	H18.8	1,753,543
		体 育 館	鉄筋コンクリート 大断面集成材 1,913m ²	H 6	513,979
南 中 学 校	33,640m ²	校 舎	鉄筋コンクリート 3 F・2 F 6,377m ²	H10.11	1,720,005
		体 育 館 ※南小と共用	鉄筋コンクリート (一部鉄骨) 2 F 1,968m ²	H30.10	609,187

(4) 児童・生徒数の推移

	磯浜小	祝町小	大貫小	夏海小	小学計	一 中	南 中	中学計	総 計
平成元年	937	86	397	190	1,610	562	318	880	2,490
2	924	82	407	178	1,591	526	297	823	2,414
3	888	81	404	177	1,550	527	313	840	2,390
4	846	79	414	166	1,505	536	305	841	2,346
5	817	76	396	148	1,437	519	305	824	2,261
6	792	78	391	129	1,390	487	282	769	2,159
7	773	76	384	115	1,348	446	271	717	2,065
8	750	68	376	100	1,294	442	264	706	2,000
9	695	66	366	90	1,217	438	277	715	1,932
10	675	68	328	93	1,164	440	281	721	1,885
11	637	65	312	92	1,106	429	263	692	1,798
12	655	54	300	99	1,108	402	233	635	1,743
13	643	59	295	100	1,097	388	211	599	1,696
14	604	54	277	100	1,035	374	217	591	1,626
15	583	57	261	88	989	351	221	572	1,561
16	584	51	255	82	972	331	209	540	1,512
17	590	58	230	90	968	320	194	514	1,482
18	579	60	224	91	954	337	183	520	1,474
19	578	63	221	86	948	324	183	507	1,455
20	565	66	228	81	940	295	167	462	1,402
21	583	69	220	84	956	270	153	423	1,379
22	570	72	229	79	950	270	141	411	1,361
23	551	65	239	71	926	303	149	452	1,378

	大洗小	大貫小	夏海小	小学計	一 中	南 中	中学計	総 計
平成24年	592	228	67	887	322	163	485	1,372
25	559	236	69	864	322	172	494	1,358
26	578	217	68	863	308	161	469	1,332
27	550	207	64	821	295	145	440	1,261

	大洗小	南 小	小学計	一 中	南 中	中学計	総 計
平成28年	515	267	782	293	141	434	1,216
29	511	246	757	288	149	437	1,194
30	478	247	725	282	146	428	1,153
令和元年	462	237	699	263	145	408	1,107
2	448	228	676	265	126	391	1,067
3	441	220	661	249	115	364	1,025
4	441	203	644	233	109	342	986
5	402	194	596	230	105	335	931
6	404	170	574	211	115	326	900
7	379	158	537	218	103	321	858

(5) 教員数の推移

区分 年次	小学校					中学校					合計				
	学校数	学級数	教員数			学校数	学級数	教員数			学校数	学級数	教員数		
			男	女	計			男	女	計			男	女	計
平成元年度	4	51	34	34	68	2	24	29	15	44	6	75	63	49	112
2	4	53	35	35	70	2	24	28	18	46	6	77	63	53	116
3	4	50	32	32	64	2	26	31	12	43	6	76	63	44	107
4	4	50	29	33	62	2	26	28	12	40	6	76	57	45	102
5	4	50	27	40	67	2	24	33	13	46	6	74	60	53	113
6	4	49	28	35	63	2	24	33	10	43	6	73	61	45	106
7	4	48	26	37	63	2	23	31	10	41	6	71	57	47	104
8	4	47	26	35	61	2	23	32	11	43	6	70	58	46	104
9	4	45	24	36	60	2	23	30	12	42	6	68	54	48	102
10	4	43	23	35	58	2	23	29	14	43	6	66	52	49	101
11	4	43	22	36	58	2	22	27	14	41	6	65	49	50	99
12	4	43	22	36	58	2	21	26	15	41	6	64	48	51	99
13	4	43	22	37	59	2	20	25	13	38	6	63	47	50	97
14	4	41	19	38	57	2	20	23	13	36	6	61	42	51	93
15	4	40	18	38	56	2	19	23	15	38	6	59	41	53	94
16	4	41	19	41	60	2	17	20	20	40	6	58	39	61	100
17	4	41	19	44	63	2	17	23	21	44	6	58	42	65	107
18	4	42	20	44	64	2	18	26	19	45	6	60	46	63	109
19	4	43	20	41	61	2	19	23	16	39	6	62	43	57	100
20	4	42	19	42	61	2	20	26	15	41	6	62	45	57	102
21	4	42	19	44	63	2	20	22	19	41	6	62	41	63	104
22	4	43	22	44	66	2	19	23	17	40	6	62	47	59	106
23	4	44	21	46	67	2	21	27	15	42	6	65	48	61	109
24	3	38	18	49	67	2	21	26	20	46	5	59	44	69	113
25	3	39	22	45	67	2	21	25	18	43	5	60	47	63	110
26	3	38	23	40	63	2	20	23	20	43	5	58	46	60	106
27	3	38	22	41	63	2	20	25	19	44	5	58	47	60	107
28	2	35	23	37	60	2	21	24	26	50	4	56	47	63	110
29	2	36	24	37	61	2	21	24	28	52	4	57	48	65	113
30	2	34	23	38	61	2	20	29	27	56	4	54	52	65	117
令和元年度	2	32	23	43	66	2	20	27	30	57	4	52	50	73	123
2	2	31	24	47	71	2	19	27	30	57	4	50	51	77	128
3	2	31	22	41	63	2	16	24	27	51	4	47	46	68	114
4	2	32	23	39	62	2	16	23	26	49	4	48	46	65	111
5	2	32	21	37	58	2	15	20	28	48	4	47	41	65	106
6	2	31	22	44	66	2	15	26	28	54	4	46	48	72	120
7	2	30	19	39	58	2	16	26	30	56	4	46	45	69	114

(6) 小・中学校校務分掌主任一覧

項目	校務分掌	大 洗 小	南 小	項目	校務分掌	一 中	南 中
校 務	校 長	小 沼 正 美	福 田 雅 美	校 務	校 長	岩 城 和 久	宇 陀 定 司
	教 頭	青 木 真樹子	物 江 祐 二		教 頭	矢 吹 幸 徳	小 林 久 晃
	教 務	黒 田 怜	三 塚 太 一		教 務	塩 畑 貴 弘	大 場 俊 彦
	生徒指導	今 熊 大 輔	松 本 將 良		生徒指導	安 重 直 起	海 東 美ゆき
	保 健	亀 谷 理 恵	西 野 哲 夫		保 健	川 澄 芳 英	追 田 祐 子
	養 護	亀 谷 理 恵	渡 辺 麻 実		養 護	菅 谷 五 月	追 田 祐 子
	研究研修	松 浦 辰 郎	五十川 淳 一		研究研修	長 島 瑠 美	大 場 俊 彦
	学校行事	黒 田 怜	三 塚 太 一		学校行事	塩 畑 貴 弘	大 場 俊 彦
	給 食	千 賀 香 織	間 宮 美奈子		給 食	岡 部 妙 子	安 藤 広 恵
	栄 養	千 賀 香 織			栄 養		小野瀬 尋 子
	教 科 書	深 作 めぐみ	大 木 裕佳里		教 科 書	西 秋 綾 子	石 田 愛 華
	図 書 館	助 川 史 恵	桑 原 陽 子		図 書 館	塩 畑 貴 弘	安 島 涼 史
	情報教育	照 沼 脩	西 野 哲 夫		情報教育	後 藤 大 輝	渡 辺 真 民
	統 計	大曾根 和 也	関 美香子		統 計	後 藤 大 輝	渡 辺 真 民
	人権教育	軍 司 晶 子	市 野 由 佳		人権教育	根 本 和 典	小 林 未央子
	特別支援教育	松 下 安貴子	海 野 春 美		特別支援教育	富 岡 典 子	小 林 未央子
	安 全	松 下 安貴子	渡 邊 公 美		安 全	川 澄 芳 英	渡 辺 真 民
	事 務	深 作 めぐみ	大 木 裕佳里		事 務	西 秋 綾 子	石 田 愛 華
	学地連携	大 津 拓 也	三 塚 太 一		学地連携	安 重 直 起	小 林 久 晃
	P T A	青 木 真樹子	物 江 祐 二		P T A	矢 吹 幸 徳	小 林 久 晃
学 年	”	黒 田 怜	三 塚 太 一		”	塩 畑 貴 弘	大 場 俊 彦
	教育扶助	青 木 真樹子	物 江 祐 二		”	安 重 直 起	石 田 愛 華
	1 学 年	庄 司 知 世	荻 沼 ゆ き	学 年	教育扶助	西 秋 綾 子	石 田 愛 華
	2 学 年	川原井 香 織	市 野 由 佳		進路指導	保 田 誠	川 崎 美 和
	3 学 年	大曾根 和 也	五十川 淳 一		1 学 年	齋 藤 朝 美	櫻 井 一 城
	4 学 年	軍 司 晶 子	郡 司 浩		2 学 年	根 本 和 典	海 東 美ゆき
	5 学 年	鈴 木 由 妃	桑 原 陽 子		3 学 年	保 田 誠	川 崎 美 和
	6 学 年	菅 野 美 穂	海老根 麻 斗	教 科	国 語	海老澤 慶	安 島 涼 史
教 科	国 語	川原井 香 織	桑 原 陽 子		社 会	萩 谷 勇 祐	小 林 未央子
	社 会	菅 野 美 穂	郡 司 浩		数 学	長 島 瑠 美	川 崎 美 和
	算 数	大曾根 和 也	間 宮 美奈子		理 科	田 村 洸 人	鹿志村 皓 稀
	理 科	照 沼 脩	海老根 麻 斗		音 楽	川 澄 芳 英	小 倉 大 和
	生 活	藺 部 明香音	荻 沼 ゆ き		美 術	富 岡 典 子	安 藤 広 恵
	音 楽	庄 司 知 世	海 野 春 美		保 体	金 澤 宏 昭	小 澤 利 恵
	図 工	田 山 恵 子	荻 沼 ゆ き		技 術	高 安 利 幸	渡 辺 真 民
	体 育	岡 崎 蓮太郎	西 野 哲 夫		家 庭	高 安 利 幸	志 賀 恵美子
領 域	家 庭	鈴 木 由 妃	桑 原 陽 子		英 語	齋 藤 朝 美	海 東 美ゆき
	道 徳	助 川 史 恵	市 野 由 佳	領 域	道 徳	田 村 洸 人	安 島 涼 史
	特別活動	大曾根 和 也	海老根 麻 斗		特別活動	海老澤 慶	鹿志村 皓 稀
	総合的学習	山 本 裕 喜	五十川 淳 一		総合的学習	齋 藤 朝 美	櫻 井 一 城
	外国語活動	大 塚 かおり	渡 邊 公 美				

6 特色ある大洗町の教育関係事業等

(1) 徳育の推進

本町は、平成24年8月に「豊かな心育成宣言」を行った。「あいさつ・生活習慣・読書・お手伝い」の4項目を定めて、子どもたちの豊かな心の育成のために、学校、家庭、地域がつながりを深め、共に学び、共に歩むために、実践の指導や啓発・浸透に努めている。

【みんなで育てよう 豊かな心をもつ きらきら大洗っ子】

(2) 育英事業

本町は、昭和38年3月に大洗町奨学資金支給条例を制定し、高校生を対象に奨学金を給付（返還義務なし）、大学生を対象に奨学金を貸付（卒業後に返還）し、有為な人材の育成を図っている。令和6年度までに、この奨学金を受け就学している高校生は339名、大学生は151名となっている。

高校生については月額1万円を給付しており、大学生については、平成30年度より大学や通学形態の区分に応じ、月額4万円・5万円・6万円の中から本人が選択した金額を貸付している。

また、貸付を受けた大学生が、卒業後Uターン就職等により大洗町に定住した場合、返還金を一部免除している。

(3) 教育振興基金条例

本町の教育充実のために、寄付された金銭を、教育振興基金として積立て、大洗町奨学資金支給条例に基づく奨学金の一部として、運用を図っている。

○名 称 大洗町教育振興基金条例（昭和59年3月19日 条例第6号）

○令和6年度末基金現在高 金 10,764千円

7 生涯学習

社会教育委員10名、公民館運営審議会委員20名、文化財保護審議会委員10名、スポーツ推進委員20名、社会教育係、文化振興係、文化財係、スポーツ振興係、博物館管理係により、生涯学習活動がすすめられている。

1. 社会教育

(1) 放課後子ども教室の実施

- ・放課後の安全で健やかな居場所づくり
- ・地域ボランティアの指導のもとスポーツ、学習、文化活動
- ・各小学校区で週1回曜日指定で平成19年度より実施（平成24年度より大洗小学校区は週2回実施）

(2) 学校地域連携推進事業の推進

- ・学校地域連携推進委員会の運営
- ・各小中学校区における実践委員会の運営

(3) 生涯学習情報の提供

(4) 体験活動・ボランティア活動支援センターの運営、「三人よれば文殊塾」の活用

(5) 家庭教育学級の開設

- ・各保育所、小中学校PTA会員を対象に7学級を開設

(6) 子育て支援「ブックスタート」事業の推進

(7) 生涯学習体制の整備推進

- ・生涯学習（社会教育）関係委員の研修
- ・水戸生涯学習センターとの情報交換、連携

(8) 男女共同参画社会活動の支援（きらきら大洗ネットワーク研究会）

2. 公民館事業

- (1) 施設（トヨペット スマイルホール 大洗）の管理・運営
- (2) 公民館講座の運営
 - ① 公民館講座募集案内
 - ② 令和7年度公民館講座

	講 座 名
1	ほぐして整える『骨盤ストレッチ & ZUMBA GOLD®』
2	LET'S TRY！『英会話教室』
3	素敵な大洗の郷土民謡『磯節教室（唄の部）』
4	素敵な大洗の郷土民謡『磯節教室（踊り部）』
5	字に自信が持てる！『書道教室』
6	季節を感じる『グリーンアレンジ教室』
7	みんなで楽しく作ろう『手作りおやつ教室』
8	『糸遊美教室』
9	『スペイン料理教室』
10	『インド料理教室』
11	『大人の塗り絵講座』
12	『プラントドール教室』
13	『やさしい歴史講座』
14	『フラメンコ教室』
15	本で海外文化を学ぼう！『ブッククラブ体験講座』
16	親子 de チャレンジ

- (4) 図書室の運営

- ・令和6年度末現在

蔵 書 数	27,989冊		
登 録 者	952人	利 用 者 数	7,987人
貸 出 冊 数	13,811冊		

- (5) 大洗町視聴覚ライブラリー

- ・DVD等の貸出し 317回

- (6) 芸術文化祭の開催

- ・大洗町芸術文化協会が第48回芸術文化祭を開催する。

展示・発表会 10月25日(土)～26日(日)

授 賞 式 10月26日(日)

- (7) 二十歳（はたち）の集い

- ・大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますため実施する。

- ・令和8年1月11日(日)

- (8) 生涯学習フェスティバルの開催

- ・公民館講座の受講生や公民館を利用している自主グループの方々等、1年間の活動の発表の場として開催する。

- ・令和8年3月1日(日)予定

3. 青少年教育事業

- (1) 大洗町青少年問題特別対策会議の運営〈随時〉

- (2) 青少年センターの運営

- ・青少年相談員活動の推進

青少年相談員19名、定例会の開催

街頭指導と環境浄化の実施

- ・不審者情報の対応

- ・健全育成パトロールの実施
- (3) 青少年育成会議の運営
 - ・青少年育成会議の開催（参加団体31団体）
 - ・海っ子、山っ子体験交流事業

豊かな自然の中で、那珂川で結ばれている大洗町の子どもたちと茂木町の子どもたちとの交流を通して、自然の美しさ、大切さや歴史を感じ感受性を養うとともに、団体生活体験による社会性、自主性、協調性を育成し、生きる力を育む。

期 日 8月21日(木)～22日(金)〈1泊2日〉

活 動 内 容 茂木町の子どもたちとの共同生活体験、自然体験

対 象 町内小学5～6年生（20名）
 - ・北海道洋上体験学習

洋上体験による共同生活や団体行動の中で、他人を思いやる心や自主性、社会性を養う。また、北海道の大自然にふれ、そこに根付く伝統や文化を直接感じることで、自然を愛する心や豊かな人間性を育み、青少年の健全育成を図る。

期 日 7月25日(金)～7月29日(火)〈4泊5日〉

研 修 内 容 洋上及び宿泊先での集団生活、社会体験、自然体験

対 象 町内小学6年生全員
 - ・善行青少年ほう賞事業

善行のあった青少年に賞状と記念品を贈り、その善行をたたえる。

令和6年度善行賞受賞者（小学生5名・中学生2名）
- (4) 大洗町高校生会研修会

4. 文化財保護普及啓発事業

- (1) 文化財保護審議会の運営
 - ・委員10名、年1～2回開催
- (2) 磯浜古墳群史跡整備検討委員会の開催
- (3) 国指定史跡磯浜古墳群の保存活用事業
 - ・周辺草刈整備
 - ・説明誘導板の設置
 - ・普及啓発事業の開催
 - ・史跡土地の公有化
- (4) 文化財防火デーの実施
 - ・1月下旬
- (5) 埋蔵文化財の保護活用
 - ・新規遺跡の登録・範囲変更
 - ・試掘確認調査による保護
 - ・発掘調査
 - ・整理報告書作成作業
- (6) 国・県・町指定文化財の指定状況（30頁、8 文化財一覧参照）
 - ・国指定文化財 1点
 - ・県指定文化財 19点
 - ・町指定文化財 10点
- (7) 登録有形文化財の登録状況（30頁、8 文化財一覧参照）
 - ・国登録有形文化財 4件
- (8) 大洗遺産の認定事業
 - ・磯節の顕彰
 - ・新規認定
- (9) 文化財の保存活用事業
 - ・考古学シンポジウムの開催

5. 博物館事業（大洗町幕末と明治の博物館）

(1) 開館時間・休館日

- ・午前 9 時～午後 5 時
- ・水曜日休館（水曜日が祝日の場合は翌日）、年末年始

(2) 博物館の管理・運営

- ・博物館資料の収集・保管・展示
- ・博物館資料の調査研究
- ・講演会・講習会等の開催
- ・特別展・企画展等の開催
- ・館長講座の開催

6. 社会体育事業

(1) 各種大会・教室・イベントの開催

町主催大会・教室・イベント	・大洗近郊学童野球大会
・茨城ロボッツスキルアップ講習会	・大洗町近郊少年柔道大会
・第9回ひぬま夏海マラソン	・大洗町少年少女剣道錬成大会
・水泳教室	町スポーツ協会主催大会
・大洗町近郊中学校野球大会	・町民野球大会（春季・秋季）
・第59回／第60回町民ゴルフ大会	・大洗近郊バレーボール大会
・第79回三浜駅伝競走大会	・三浜家庭婦人親善大会（バレーボール）
・第43回大洗マラソンサンビーチマイルレース	・町民卓球大会
町スポーツ少年団主催大会	・スポ協ゴルフ大会（年4回）
・大洗近郊ミニバスケットボール大会	・町民バドミントン大会

- (2) 学校体育施設の開放
- (3) 大洗町ビーチテニスクラブの施設管理と運営支援
- (4) スポーツ広場の開催（5月～12月の第2・4金曜日）
- (5) 各種体育大会出場参加
 - ・東茨城郡体育大会
- (6) 大洗町スポーツ協会の事業支援
 - 加盟登録団体 18部
- (7) 大洗町スポーツ少年団育成事業
 - 加盟登録団体 6部
- (8) いばらき県央地域連携中枢都市圏の形成に向けた取組（プロスポーツによる地域活性化事業）
- (9) 総合型地域スポーツクラブ「夢town大洗スポーツクラブ」の支援
 - ・スポーツ広場、子どもスキー教室、ウォーキング事業等助成及び運営補助
- (10) 総合運動公園（トヨペット エンジョイパーク 大洗）の施設整備と活用促進
 - 施設の効率的活用のための管理運営に努める。
 - ・各種大会、イベントの誘致活動
 - ・施設の整備、管理運営

7. 町民会館事業

- (1) 施設（トヨペット スマイルホール 大洗）の管理・運営。
- (2) 自主事業の企画
 - ・大洗音楽祭 1月予定
 - ・映画上映事業 6月下旬・9月中旬・令和8年2月中旬予定
 - ・グランドピアノ開放事業
 - ・浜っ子あーと体験講座
- (3) 芸術鑑賞の集い

児童を対象に舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、情操と創造性を養い、芸術文化活動への関心を高める。

期 日 11月11日(火)予定

8 文化財一覧

国指定文化財

番号	種 別	名 称	管理者	所 在 地	指定年月日	摘 要
1	史 跡	磯浜古墳群	大洗町	磯浜町字 日下ヶ塚 2865番 8 外 24筆	令和 2. 3. 10	古墳時代前期から中期初頭の河口部に位置する前方後円墳 2 基、前方後方墳 1 基、円墳 1 基ほか 6 基からなる古墳群。日下ヶ塚古墳は墳長約 101.4m の大型前方後円墳で、鏡・石製模造品など約 4,000 点の豊富な副葬品が出土し、車塚古墳は直径 88m で、全国屈指の規模を誇る。古墳時代前期から中期初頭の関東における古墳の展開を考える上で重要である。

県指定文化財

番号	種 別	名 称	管理者	所 在 地	指定年月日	摘 要
1	天 然 記念物	お葉付イチョウ	西光院	大 貫 町 角 一	昭和 37. 2. 26	
2	絵 画	絹本着色 金剛界大日如来画像	西光院	大 貫 町 角 一	昭和 44. 3. 20	
3	彫 刻	木 造 阿弥陀如来立像	西光院	大 貫 町 角 一	昭和 44. 3. 20	西光院本尊 鎌倉時代末期の仏像で像高 166cm
4	彫 刻	木 造 阿弥陀如来坐像	西福寺	磯浜町金沢町	昭和 44. 3. 20	西福寺本尊 室町期の仏像で像高 92cm
5	彫 刻	木造阿弥陀如来坐像 (胎内仏)	西福寺	磯浜町金沢町	昭和 44. 3. 20	西福寺本尊の胎内仏三体のうちの一体である。鎌倉時代中期の作。 像高 20cm
6	彫 刻	木 造 観世音菩薩立像(胎内仏)	西福寺	磯浜町金沢町	昭和 44. 3. 20	〃
7	彫 刻	木 造 勢至菩薩立像(胎内仏)	西福寺	磯浜町金沢町	昭和 44. 3. 20	〃
8	建造物	大洗磯前神社 拝殿・本殿	大洗磯前神社	磯 浜 町	昭和 45. 9. 28	元禄 3 年 7 月、水戸藩主徳川光圀によって再建されたものである。 昭和 45 年～47 年に修理が行なわれている。
9	工芸品	扇散蒔絵書棚	大洗町	磯 東 浜 光 町 台	昭和 46. 12. 2	
10	工芸品	短 刀 銘新藤吾国光	大洗町	磯 東 浜 光 町 台	昭和 47. 12. 18	

番号	種 別	名 称	管理者	所 在 地	指定年月日	摘 要
11	彫 刻	木 造 阿弥陀如来立像	願入寺	祝 町	昭和47.12.18	願入寺本尊
12	工芸品	香合 2 個	願入寺	祝 町	昭和47.12.18	
13	工芸品	朱漆塗蔦葛模様椀 5 個組	願入寺	祝 町	昭和47.12.18	
14	絵 画	親鸞聖人画像	願入寺	祝 町	昭和47.12.18	
15	書	唯信鈔断片	願入寺	祝 町	昭和47.12.18	
16	書	蓮如筆 消息大根田御坊宛	願入寺	祝 町	昭和47.12.18	
17	工芸品	太 刀 (銘常州水戸住藤原 近則)	大洗磯 前神社	磯 浜 町	平成 2 . 1 . 25	嘉永 5 年 2 月 藤原近則作 長さ 4 尺 9 寸反り付 目くき穴 2 個
18	考古資料	一本松遺跡 出土遺物13点	大洗町	磯 浜 町	平成23.11.17	巴形銅器 1 点、弥生土器 9 点、 土製紡錘車 2 点、軽石製品 1 点
19	古文書	税書文書 (山戸本)	個 人	磯 浜 町	令和 5 . 12. 28	常陸国在庁官人として土豪 化した税所家に伝来した史 料群で、常陸中世文書を代 表する。

町指定文化財

番号	名 称	員 数	寸法・重 量 材質・その他	製 作 年 代 作 者 名	由 来・そ の 他	保 存 管 理
1	願 入 寺 門 山	1 基	一間一戸薬医 門切妻造 両袖塀共本瓦 葺総けやき	江戸時代中期 作 者 不 詳	尾張家菩提寺の山門であった と伝えられ、昭和初期に現在地 に移建した。 昭和47年末大修理を行った。	頗る良好である
2	二十四輩牒 (願入寺)	1 巻	紙 本 縦 26cm 横 1 m25cm	正慶元年正月 5 日 (1332年) 願入寺三世 空 如 上 人	如信上人の33回忌を奥州白河 大網願入寺に於いて行ったと き、本願入寺第3世覚如上人と 願入寺3世空如上人その他高弟 によって定められた24輩の牒の 原本である。 空如上人筆である。	良好である
3	尾形光琳筆 襖 絵 (願入寺)	襖 絵 残24枚 1 帖	紙 本 39cm×49cm	尾形光琳筆	もと銀襖に36枚張りで仕立て てあったが、火災にあい24枚と なった。 水にぬれてしまったので画帳 として保存したものである。	良好である 一部修正され ていると言わ れる
4	如信上人坐像 (願入寺)	1 軀	桧木等身大 寄 木 造	元 禄 1 3 年 源 光 國 作	巖船山願入寺開山第一世如信 上人の御影を義公が自ら作り、 元禄13年願入寺に寄進したもの である。	良好である

番号	名 称	員 数	寸法・重 量 材質・その他	製 作 年 代 作 者 名	由 来・そ の 他	保 存 管 理
5	大洗磯前社 随神門	1 基	八脚門造 切妻板造 銅板組立て	享保15年 徳川綱籐進 寄	造営以来代々藩主が手を加え、更に明治、昭和期に大修理を行い現在に至る。	良好である
6	銅造 明治天皇立像	1 軀	高 168cm 銅製立像	大正4年 彫塑家 渡辺長男 鑄金家 岡崎雪聲	大正元年、田中光顯が建立発願。大正3年3月完成。大正4年大正天皇に奉獻。献上された物と同型の銅像が、常陽明治記念館の開館にあわせ除幕された。	良好な状態で 展示中
7	大 洗	1 件	東西 約0.9km 南北 約1.8km	古 代 ～ 現 代	地域を代表する歴史的な意義を持つ名勝地	良好である
8	三 尺 藤	1 株	樹高約4.0m 平面積約46㎡	幕 末 ～ 近 代	ひたちなか市勝倉に居住した先祖が、野生のフジに、弘道館鹿島神社のフジを接ぎ木して成立したと伝承される。	日常的管理が 適切で樹勢良 好
9	偕楽園図	1 幅	軸 装 212×290.5cm 本 紙 148×286.3cm	天保13年～嘉 永4年	偕楽園は水戸藩第9代藩主徳川斉昭が天保13（1842）年に開園した。偕楽園を描いた図は、「偕楽園図」「好文亭四季模様之図」の2鋪のみが知られ、類似の図の現存は確認されていない。「潜龍閣蔵書記」の蔵書印があることから、斉昭に献上された絵図と考えられる。	
10	好文亭四季 模様之図	1 幅	軸 装 183×292cm 本 紙 163×280cm	嘉永4年 巨巽幽画	偕楽園は水戸藩第9代藩主徳川斉昭が天保13（1842）年に開園した。偕楽園を描いた図は、「偕楽園図」「好文亭四季模様之図」の2鋪のみが知られ、類似の図の現存は確認されていない。絵図に記載の識語から常磐村の庄屋桜井家に伝来した絵図である。	

国登録有形文化財

名 称	構造及び形式	所 在 地	登 録 年 月 日	摘 要
武石家住宅 主 屋	木造平屋一部 2階建、瓦葺、 建築面積133 平方メートル	大洗町磯浜町 1107-1	平成17年2月9日	洋館を医院、和館を住宅として建設。洋館は木造2階建、寄棟造、棧瓦葺で、外壁をドイツ下見板張とし、胴蛇腹を廻す。玄関庇は瓔珞形の鼻隠で飾る。1階が診察室、2階は書斎と子供室。和館は寄棟造の平屋建。地方における大正期医院併用住宅の好例。
幕末と明治の 博物館別館	鉄筋コンクリ ート造平屋建、 建築面積591 平方メートル	大洗町磯浜町 8231	平成17年2月9日	聖像殿と渡廊下で接続する鉄筋コンクリート造平屋建。展示室外壁は無窓で、石造風に目地を切った擬石仕上とし、角形付柱が区画する重厚な外観意匠である。軒下には歯飾を施す。第1展示室の南面には窓を設け、コリント風円柱を並べてアクセントとしている。

名 称	構造及び形式	所 在 地	登 録 年 月 日	摘 要
大貫家住宅主屋	木造2階建、瓦葺、建築面積142平方メートル	大洗町磯浜町 1130-3	平成18年3月2日	大正元年に神山に建設され、同14年から15年にかけて、現在の髭釜に移築された。主屋は西面入母屋造、東面切妻造の木造二階建て、軒廻りの化粧軒、細い格子付の二階窓など、よく往時の外観を保っている。内部も上質な座敷、化粧梁の踏天井、座敷のトコ飾りなどの造作、「客間」の高い天井と窓装置など伝統建築の質の良さがみられる。
旧おかめ旅館本館	木造2階建、入母屋及び寄棟造、瓦葺、建築面積186.6平方メートル	大洗町磯浜町 2315-45	平成19年10月22日	酒沼川の川岸に建つ和風の二階建て、大正時代に現地に移築され、昭和初めころ旅館として開業した本館である。外観は深い軒出を出桁で支え、木太い垂木を密に配置した重厚な軒先に、正面側に入母屋造と北面側の寄棟造の屋根を繋いだ形式である。

9 関係機関・関係諸団体一覧

教育関係機関

機 関 名	所 在 地	電 話
茨城県教育委員会・教育長	水・笠原町978番6	301-1111(代)
茨城県水戸教育事務所	水・柵町1-3-1・水戸合同庁舎内	227-4451
公立学校共済組合茨城県支部	水・笠原町978-6（福利厚生課内）	301-5412
茨城県福祉相談センター(中央児童相談所)	水・水府町864-16	221-4150
茨城県学校給食会	水・鯉淵三ノ割2508-52	259-0011
茨城県学校保健会	水・笠原町489	243-4170
茨城県教育研修センター	笠間市平町1410	0296-78-2121
茨城県水戸生涯学習センター	水・三の丸1-5-38	228-1313
茨城県教育会	水・見和1-356-2 生涯学習センター分館内	221-2747
茨城県学校長会	水・大場町933-1 教育プラザいばらき内	269-1300
茨城県教育研究会	水・大場町933-1 教育プラザいばらき内	269-1300

教育関係諸団体

機 関 名	代 表 者	所 在 地	電 話
東茨城郡校長会	岩 城 和 久	第 一 中 学 校	267-5288
東茨城郡教育研究会	鈴 木 勝	城里町常北中校	288-2025
大洗町校長会	岩 城 和 久	第 一 中 学 校	267-5288
大洗町教育研究会	小 沼 正 美	大 洗 小 学 校	267-5188
大洗町教頭会	小 林 久 晃	南 中 学 校	267-2942
大洗町教務主任会	塩 畑 貴 弘	第 一 中 学 校	267-5288

学校教育機関

・学 校 医

氏 名	担 当 学 校
會 澤 治	南小・南中
高 橋 卓 夫	大洗小・一中
阪 田 実 利	大洗小・一中

・学校歯科医

氏 名	担 当 学 校
門 脇 天	南小・南中
伊 藤 雅 彦	大洗小

氏 名	担 当 学 校
土 子 吉 久	大洗小・一中
中 島 京 樹	南小

・学校薬剤師

氏 名	担 当 学 校
高 木 弘 之	大洗小

氏 名	担 当 学 校
石 崎 美智恵	一中
野 上 栄 一	南小・南中

・奨学生選考審議委員

氏 名	備 考
長谷川 馨	町教育委員会教育長
飯 田 英 樹	町議会議員
伊 藤 雅 彦	町教育委員会教育長職務代理者
関 清 一	副町長

氏 名	備 考
岩 城 和 久	第一中学校長
宇 陀 定 司	南中学校長
宮 崎 和 夫	民生委員協議会会長

・教育支援委員

No.	氏 名	所 属
1	會 澤 治	学校医
2	青 木 真樹子	大洗小学校教頭
3	物 江 祐 二	南小学校教頭
4	岩 城 和 久	第一中学校長
5	宇 陀 定 司	南中学校長
6	友 部 道 夫	水戸飯富特別支援学校校長
7	野 崎 智 子	〃 相談支援部長

No.	氏 名	所 属
8	小 沼 玲 子	かもめ保育園長
9	袴 塚 景 子	スクールカウンセラー
10	田 山 義 明	福祉課長
11	佐 藤 邦 夫	こども課長

社会教育関係機関

・社会教育委員

任期 令和8年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	岩 城 和 久	学校長会長
2	大 沼 守 正	大洗高等学校教頭
3	今 泉 貴 弘	大洗町PTA連絡協議会長
4	関 根 孝 明	大洗小学校区コミュニティ委員長
5	渡 辺 専 造	スポーツ推進委員長

No.	氏 名	備 考
6	郡 司 丈 児	文化財保護審議会長
7	小野瀬 直 之	芸術文化協会会長
8	飯 島 一 敬	学識経験者
9	宮 部 理 佳	〃
10	加部東 孝 浩	〃

・公民館運営審議会委員

任期 令和8年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	岩 城 和 久	学校長会長
2	大 沼 守 正	大洗高等学校教頭
3	今 泉 貴 弘	大洗町PTA連絡協議会長
4	関 根 孝 明	大洗小学校区コミュニティ委員長
5	渡 辺 専 造	スポーツ推進委員長
6	郡 司 丈 児	文化財保護審議会長
7	小野瀬 直 之	芸術文化協会会長
8	飯 島 一 敬	学識経験者
9	宮 部 理 佳	〃
10	加部東 孝 浩	〃

No.	氏 名	備 考
11	小 沼 正 美	教育研究会会長
12	小野瀬 秀 聡	第一中学校PTA会長
13	関 根 正 彦	学識経験者
14	小松崎 篤	〃
15	會 沢 剛 史	〃
16	大 川 芳 枝	〃
17	藤 本 弘 幸	〃
18	宮 内 保 明	〃
19	名 畑 吉 子	〃
20	檜 山 洋 子	〃

・文化財保護審議会委員

任期 令和8年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	郡 司 丈 児	学識経験者
2	江 口 文 子	〃
3	粉 川 勝	〃
4	岩 波 忠 夫	〃
5	加倉井 東	〃

No.	氏 名	備 考
6	井 上 隆 彦	学識経験者
7	大 津 忠 男	〃
8	小野寺 淳	〃
9	石 井 孝 夫	〃
10	石 井 盛 志	〃

・磯浜古墳群史跡整備検討委員

No.	氏 名	備 考
1	広 瀬 和 雄	学識経験者
2	若 狭 徹	〃
3	菊 地 芳 朗	〃
4	田 中 裕	〃
5	深 澤 太 郎	〃
6	伊 藤 弘	〃
7	郡 司 丈 児	〃

No.	氏 名	備 考
8	大 里 明	学識経験者
9	小野瀬 直 之	〃
10	江 口 文 子	〃
11	岩 城 和 久	〃
12	坂 本 薫	〃
13	田 中 秀 幸	関係行政機関職員
14	海老澤 督	〃

・青少年相談員

任期 令和9年3月31日

No.	氏 名	地 区
1	田 山 忠	大洗小・第一中学校区
2	片 岡 美智子	
3	櫻 井 重 明	
4	関 根 孝 明	
5	山 戸 章 弘	
6	岩 崎 麻 美	
7	川 崎 能 央	
8	川 又 大 輔	
9	飯 田 英 樹	
10	栗 原 志 夫	

No.	氏 名	地 区
11	宮 崎 和 夫	南小・南中学校区
12	下 山 一 仁	
13	瀧ヶ崎 勘一郎	
14	田 山 美千子	
15	関 根 正 彦	
16	佐 藤 真 一	
17	櫻 井 敬 一	
18	米 川 喬	
19	佐 藤 博 美	

・スポーツ推進委員

任期 令和8年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	渡 辺 専 造	委 員 長
2	増 山 貞 吉	企画・研修委員長
3	大 岡 紀 一	委 員
4	関 根 孝 明	〃
5	大 貫 茂 男	〃
6	中 丸 光	〃
7	今 村 和 章	〃
8	竹 下 政 彦	広報委員長
9	小野瀬 とき子	委 員
10	鴨 川 清 美	〃

No.	氏 名	備 考
11	杉 山 充	委 員
12	関 根 薫	〃
13	大 谷 隆 志	普及委員長
14	菅 谷 美登利	委 員
15	檜 山 なおみ	〃
16	下 山 一 仁	〃
17	杉 山 智 子	〃
18	郡 司 淑 恵	〃
19	米 川 満	〃
20	片 桐 聖 美	〃

社会教育・社会体育関係団体

団 体 名	代 表 者 名
大洗町スポーツ協会	大 貫 茂 男
大洗町芸術文化協会	小 野 瀬 直 之
大洗町PTA連絡協議会	今 泉 貴 弘
大洗町青少年育成会議	國 井 豊
大洗町高校生会	関 根 直 輝
大洗町スポーツ少年団	米 川 恒 男

10 大洗町・大洗町教育委員会刊行物一覧

大洗町史資料集

第 1 集	大洗町の小字地名集	昭和56年刊
第 2 集	守山藩史料集（上）	昭和56年刊
第 3 集	大洗町の漁業関係史料集	昭和60年刊
第 4 集	大洗町の花と生き物	平成元年刊
第 5 集	難破船記録（上）	昭和57年刊
第 6 集	難破船記録（下）	昭和58年刊
第 7 集	守山藩史料集（下）	昭和59年刊
大洗町史	通史編	昭和61年刊
大洗町史	追 録	平成元年刊

郷土歴史講演録

水戸光圀と大洗	名越時正	昭和61年刊
明治維新に想う	宮田正彦	昭和61年刊
明治天皇一世々の心を我は問ひけり	但野正弘	昭和62年刊
藤田東湖と志士たち	杉崎 仁	平成元年刊
水戸と蝦夷	仲田昭一	平成 2 年刊

郷土学習資料

大洗郷土資料	昭和44年刊
文化財のしおり	平成13年刊
大洗ぶんかざい通信（第1～9号）	平成15～17年刊
大洗町の縄文～室町時代	平成18年刊
大洗町の明治～昭和時代	平成18年刊
ノスタルジー大洗写真展2015	平成27年刊
ノスタルジー大洗写真展2016	平成28年刊
原始の海と縄文の美 ― 海と共に生きる ― 企画展パンフレット	平成29年刊
ノスタルジー大洗写真展2018	平成30年刊
太平洋を見下ろす大洗の王墓 企画展パンフレット	平成30年刊
太平洋を見下ろす大洗の王墓 講演会発表資料集	平成30年刊
常陸鏡塚 企画展パンフレット	令和元年刊
常陸鏡塚 シンポジウム発表資料集	令和元年刊
磯浜古墳群へ続く道 シンポジウム発表資料集	令和 2 年刊

茨城県指定有形文化財『一本松遺跡出土遺物』解説書	令和3年刊
弥生島と古墳島 企画展パンフレット	令和3年刊
茨城県の古墳 シンポジウム発表資料集	令和3年刊
いばらき古墳旅まっぷV o 1.01 (第1版)	令和3年刊
OARAI KOFUN EXPO'22 企画展パンフレット	令和4年刊
文化と観光シンポジウム発表資料集	令和4年刊
いばらき古墳旅まっぷV o 1.02	令和5年刊
史跡 磯浜古墳群保存活用計画	令和5年刊
史跡 磯浜古墳群保存活用計画 (概要版)	令和5年刊
磯浜古墳群を未来に シンポジウム資料集	令和5年刊
いばらき古墳旅まっぷV o 1.01 (第2版)	令和5年刊
ヤマト王権と磯浜古墳群 シンポジウム資料集	令和6年刊

埋蔵文化財調査報告書

大洗町車塚古墳群測量調査報告書	昭和46年刊
大洗吹上遺跡上 上川名昭編 (大洗吹上遺跡調査団発行)	昭和47年刊
大洗町遺跡分布調査報告書 — 大洗町文化財調査報告書第3集 — (大洗町教育委員会・大洗町遺跡分布調査団編)	昭和48年刊
茨城県大洗町長峯遺跡 (大洗町教育委員会発行)	昭和48年刊
茨城県おんだし遺跡 (日本核燃料開発株式会社・大洗町教育委員会発行)	昭和50年刊
大洗町ひいがま遺跡 — 昭和51年度発掘調査略報 — (鹿島線遺跡調査会髭釜班発行)	昭和52年刊
茨城県吹上遺跡 — 大洗町文化財調査報告書第6集 — 第3次発掘調査の記録 宮田毅編 (グリーン大洗緑水園・茨城県大洗町教育委員会発行)	昭和52年刊
茨城県大洗町小館遺跡発掘調査報告書 — 中世城郭の研究 —	昭和53年刊
髭 釜 — 鹿島線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 — (大洗地区遺跡発掘調査会発行)	昭和55年刊
千 天 — 鹿島線建設に伴う埋蔵文化財調査報告書 — (大洗地区遺跡発掘調査会発行)	昭和55年刊
南藤太郎 — 鹿島線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 — (大洗地区遺跡発掘調査会発行)	昭和55年刊
大洗町椎木下遺跡調査報告 — 総合運動公園造成に伴う埋蔵文化財の確認調査 — (大洗町椎木遺跡発掘調査会発行)	昭和61年刊
大洗町上ノ山遺跡調査報告 — 磯道・見付窪土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財の確認調査 — (大洗町上ノ山遺跡発掘調査会発行)	昭和61年刊
団子内 — 五反田土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査概報要 — (大洗町団子内遺跡発掘調査会発行)	昭和62年刊
皿沼遺跡 — サイプレイスカントリークラブ造成地内埋蔵文化財発掘調査 — (大洗町埋蔵文化財発掘調査会)	平成7年刊
日揮株式会社開発区域内の埋蔵文化財確認調査報告書	平成10年刊
大貫落神北貝塚 — 茨城県住宅供給公社大貫台地開発に伴う埋蔵文化財発掘調査 — (大貫台地埋蔵文化財発掘調査会)	平成12年刊
大貫落神南貝塚 — 茨城県住宅供給公社大貫台地開発に伴う埋蔵文化財発掘調査 — (大貫台地埋蔵文化財発掘調査会)	平成12年刊
飛城・常福寺遺跡 — 茨城県住宅供給公社大貫台地開発に伴う埋蔵文化財発掘調査 — (大貫台地埋蔵文化財発掘調査会)	平成12年刊
落神遺跡 — 茨城県住宅供給公社大貫台地開発に伴う埋蔵文化財発掘調査 — (大貫台地埋蔵文化財発掘調査会)	平成13年刊
登城遺跡 — 茨城県住宅供給公社大貫台地開発に伴う埋蔵文化財発掘調査 — (大貫台地埋蔵文化財発掘調査会)	平成13年刊

一本松遺跡 — 一本松土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査 — (一本松埋蔵文化財発掘調査会)	平成13年刊
茨城県東茨城郡大洗町寺ノ上遺跡(第1次) — 大洗町文化財調査報告書第7集 — 町道8 — 2003号線改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	平成20年刊
茨城県東茨城郡大洗町矢場久保遺跡 — 大洗町文化財調査報告書第8集 — (仮称) 矢場久保地区宅地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	平成20年刊
茨城県東茨城郡大洗町仲野遺跡(第1次) — 大洗町文化財調査報告書第9集 — 冷却系機器開発試験施設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	平成22年刊
南藤太郎遺跡(第2次) — 大洗町文化財調査報告第10集 — N800M-1Xシステム無線基地局工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	平成23年刊
平成21年度大洗町内遺跡発掘調査報告書 — 大洗町文化財調査報告書第11集 —	平成23年刊
茨城県東茨城郡大洗町神明社遺跡(第1次) — 大洗町文化財調査報告書第12集 — 町道1-10号線建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	平成24年刊
平成20年度大洗町内遺跡発掘調査報告書 — 大洗町文化財調査報告書第13集 —	平成22年刊
茨城県東茨城郡大洗町車塚古墳・姫塚古墳 — 大洗町文化財調査報告書第14集 — 平成21年度測量調査・平成23年度範囲確認調査概要報告書	平成25年刊
米蔵地遺跡(第2次) — 大洗町文化財調査報告書第15集 — グループホーム温泉大洗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	平成25年刊
2010・2011年度大洗町内遺跡調査報告書 — 大洗町文化財調査報告書第16集 —	平成26年刊
2012・2013年度大洗町内遺跡調査報告書 — 大洗町文化財調査報告書第17集 —	平成27年刊
日下ヶ塚(常陸鏡塚)古墳 — 大洗町文化財調査報告書第18集 — 平成22年度測量調査・平成24年度範囲確認調査概要報告書	平成27年刊
富士ノ腰遺跡 — 大洗町文化財調査報告書第20集 —	平成29年刊
四反遺跡 — 大洗町文化財調査報告書第21集 —	平成30年刊
平成26(2014)年度大洗町内遺跡調査報告書 — 大洗町文化財調査報告書第22集 —	平成30年刊
へろ内遺跡 — 大洗町文化財調査報告書第23集 —	平成30年刊
磯浜古墳群I — 大洗町文化財調査報告書第24集 —	令和元年刊
平成27(2015)年度大洗町内遺跡調査報告書 — 大洗町文化財調査報告書第25集 —	令和3年刊
宮田遺跡(第1次)(上巻・下巻) — 大洗町文化財調査報告書第27集 —	令和6年刊
平成29(2017)年度大洗町内遺跡調査報告書 — 大洗町文化財調査報告書第28集 —	令和6年刊
平成28(2016)年度大洗町内遺跡調査報告書 — 大洗町文化財調査報告書第29集 —	令和7年刊

博物館図録・パンフレット

第2回企画展 日本人初の幼稚園保姆 豊田美雄〜幼児・女子教育に捧げた97年の生涯〜	平成24年刊
第3回特別展 茨城の海 その魅力をさぐる〜太古の巨大サメから大洗の日の出まで〜	平成25年刊
銀行家龜山甚と夏海小学校	平成28年刊
第5回特別展 秋田県にかほ市・大洗町友好都市交流展覧会 センチメンタル池田修三木版画展 — 少女・こども・ふるさと —	平成29年刊
第6回企画展 水戸と明治維新の先人たち〜光圀・斉昭・龍馬・西郷どん・そして明治維新〜	平成30年刊
第7回特別展 武石堯絵画展〜灯台とその風景、そして万葉奈良の寺院・仏像を描く〜	令和元年刊

第8回特別展	雅の世界～生越仁子貝合わせ作品展～	令和3年刊
第9回特別展	懐かしの水浜電車と大洗の観光 ― 開通100年記念 ―	令和5年刊
第10回企画展	ふじたたけき― 徳川斉昭のブレーン 藤田東湖の魅力に迫る ―	令和5年刊
第12回特別展	生誕140年・没後100年記念 山村暮鳥と大洗 ～おうい雲よ～	令和6年刊

博物館案内・目録

大洗町幕末と明治の博物館 展示案内	平成28年刊 令和元年再刊
創立90周年を迎えた大洗町幕末と明治の博物館～創立から90周年、その主な歩み～	令和2年刊

博物館年報・紀要

大洗町幕末と明治の博物館報 第1～13号	平成23年～令和7年刊
----------------------	-------------

科学教育資料

平成30年度～令和2年度 大洗サイエンスカレッジ報告書	令和3年刊
-----------------------------	-------